

3. 五所川原市の地域及び公共交通の現状

3-1. 市の地勢・沿革

(1) 地勢

本市の五所川原・金木地区は、東側の標高約 400～600m級の山々が連なる津軽山地の稜線部から西側へ向かい、市域中央部付近の平野部に至るまで山地、丘陵地と続き、さらに本市の西側を南北に貫流する岩木川まで平野部が続いています。山地及び丘陵地は広大な山林が広がり、平野部は岩木川や多数の河川からの恵みを受けた肥沃な土壌に水田地帯が形成され、これらの間には畑地や水田を維持するため池が点在しています。

市浦地域は、北側から東側にかけて大部分が山地で、西側は日本海に面し、南側には十三湖を擁した自然豊かな地域です。

また、県都青森市へは東へ約 25km、津軽地方の中心都市である弘前市へは約 23km の位置にあります。

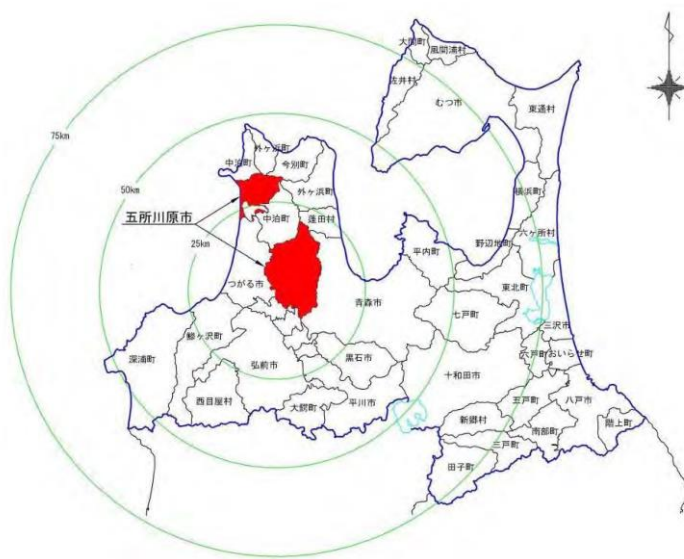


図 五所川原市の位置

(2) 沿革

本市は、平成 17 年 3 月 28 日に旧五所川原市・旧金木町・旧市浦村の 3 市町村が合併し、新市制による新しい五所川原市が誕生しました。

現在の都市形態は、山間丘陵部においては基幹産業である農業を背景とした中世からの集落形態が南北に存続しつつ、都市部においては、西北津軽地域の商業・流通の拠点として発展するとともに、工業団地を中心とした内陸型工業都市の性格を維持しています。

平成 19 年には、津軽自動車道「浪岡五所川原道路（国道 7 号交差部～五所川原北 IC）」、さらに平成 26 年には「五所川原西バイパス（五所川原北 IC～つがる柏 IC）」も供用開始するなど、現在は主要な幹線道路の骨格が確立されつつあります。

3-2. 人口等の状況

(1) 人口の推移

平成27年の人口は55,181人であり、10年前の62,181人(H17)から7,000人(約10%)減少しています。

将来人口は、国立社会保障人口問題研究所の推計値では、今後更なる減少が今後も継続し、平成52年には36,358人になります。

年齢別構成比をみると、年少人口割合(H17:13.8%、H27:10.9%、H52:8.0%)、生産人口(H17:61.1%、H27:57.3%、H52:48.9%)はともに年々減少している一方で、65歳以上の高齢者人口割合(H17:25.0%、H27:31.6%、H52:43.1%)は増加傾向にあります。

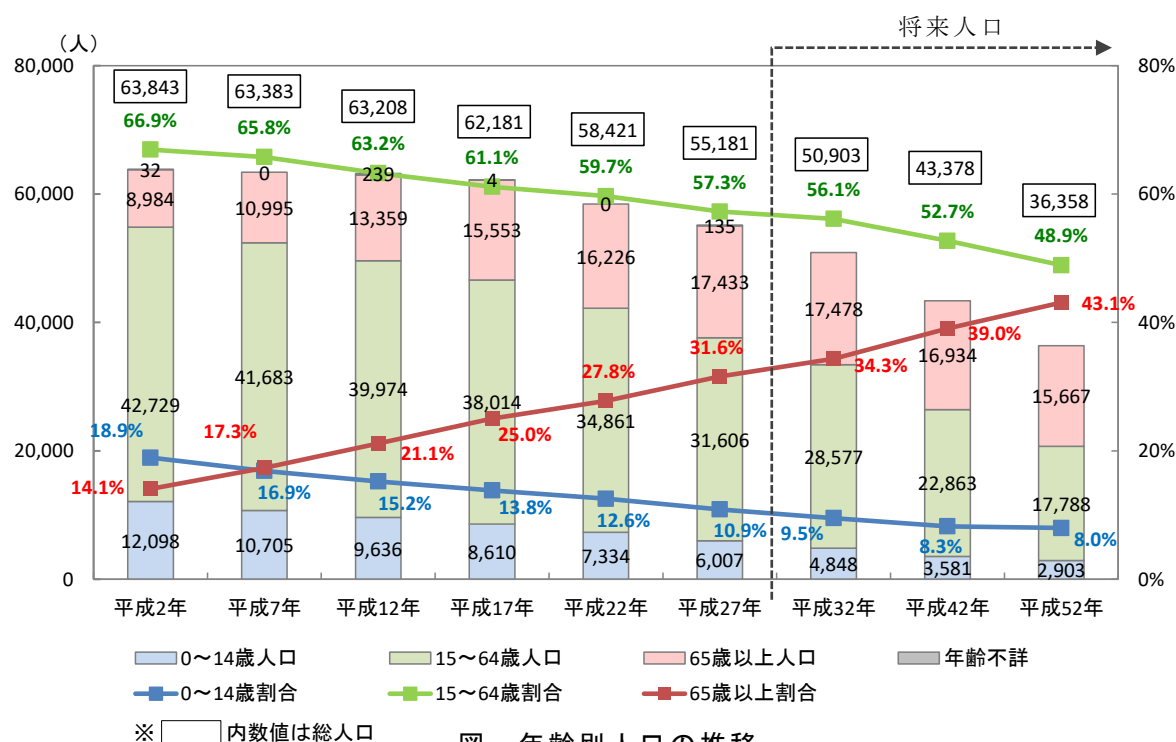


図 年齢別人口の推移

資料：国勢調査（H2～27）、国立社会保障人口問題研究所（H32・42・52）

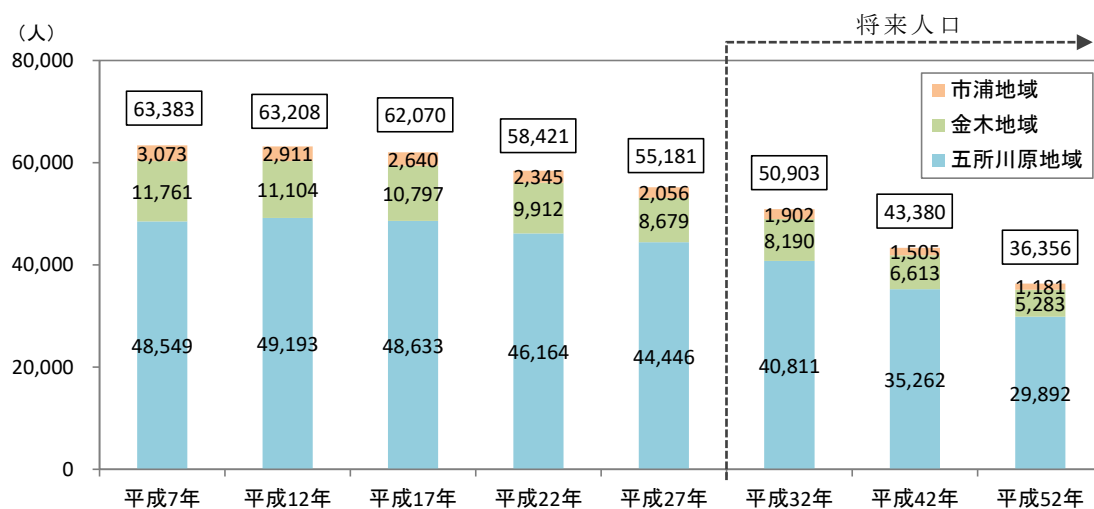


図 地域別人口の推移

資料：国勢調査（H2～27）、国立社会保障人口問題研究所（H32・42・52）

(2) 高齢化の状況

平成 27 年の高齢者人口は 17,433 人と 10 年前の 15,553 人（H17）から約 2,000 人増加しており、その結果、高齢化率も約 7 ポイント増加しています。

将来的には、平成 52 年には高齢化率は約 4 割にまで増加することが予測されています。一方で、高齢者人口は平成 32 年までは増加傾向にありますが、それ以降は減少に転じ、平成 52 年には 15,667 人と平成 27 年の 17,433 人から約 2,000 人減少することが予想されます。これは 10 年前（H17）の高齢者人口と同程度になります。

地域別にみると、市浦地域、金木地域における高齢化の進行が顕著です。

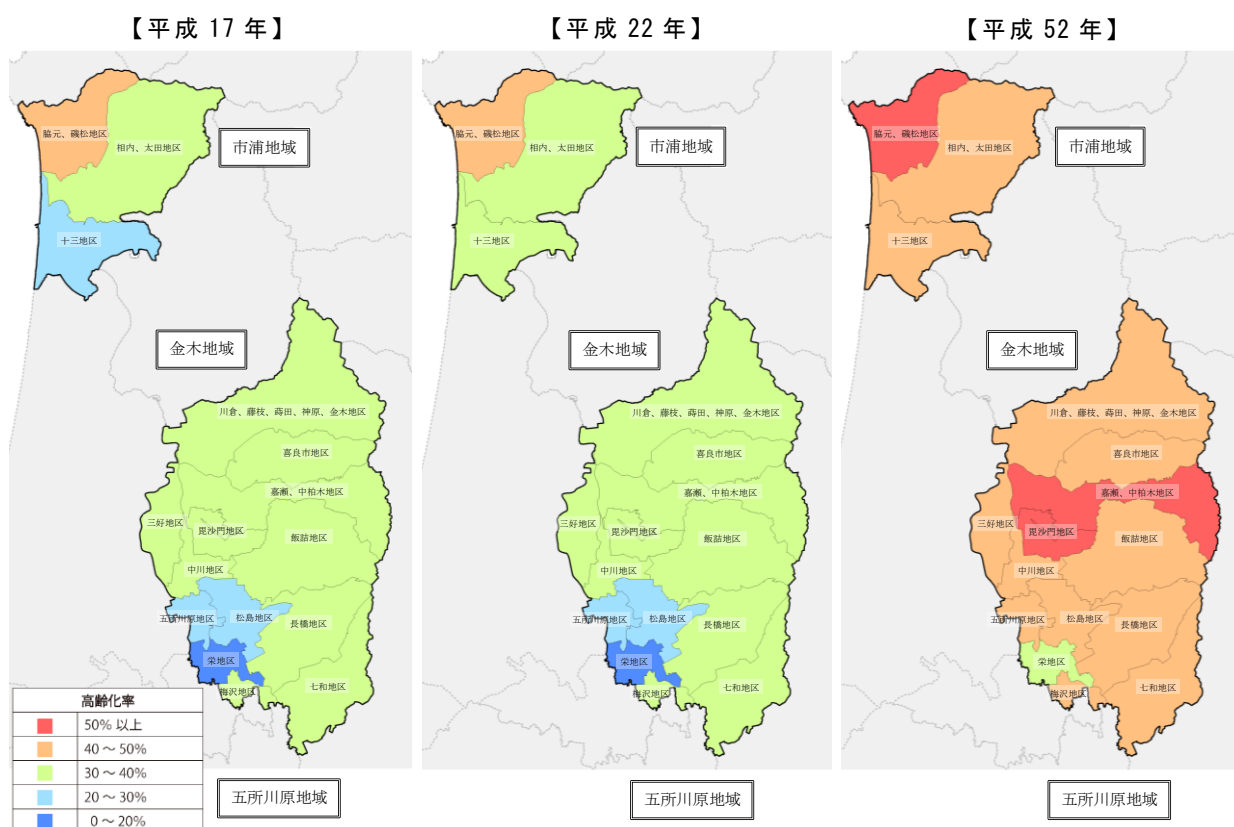


図 各年における地区別高齢化状況

資料：五所川原市人口ビジョン

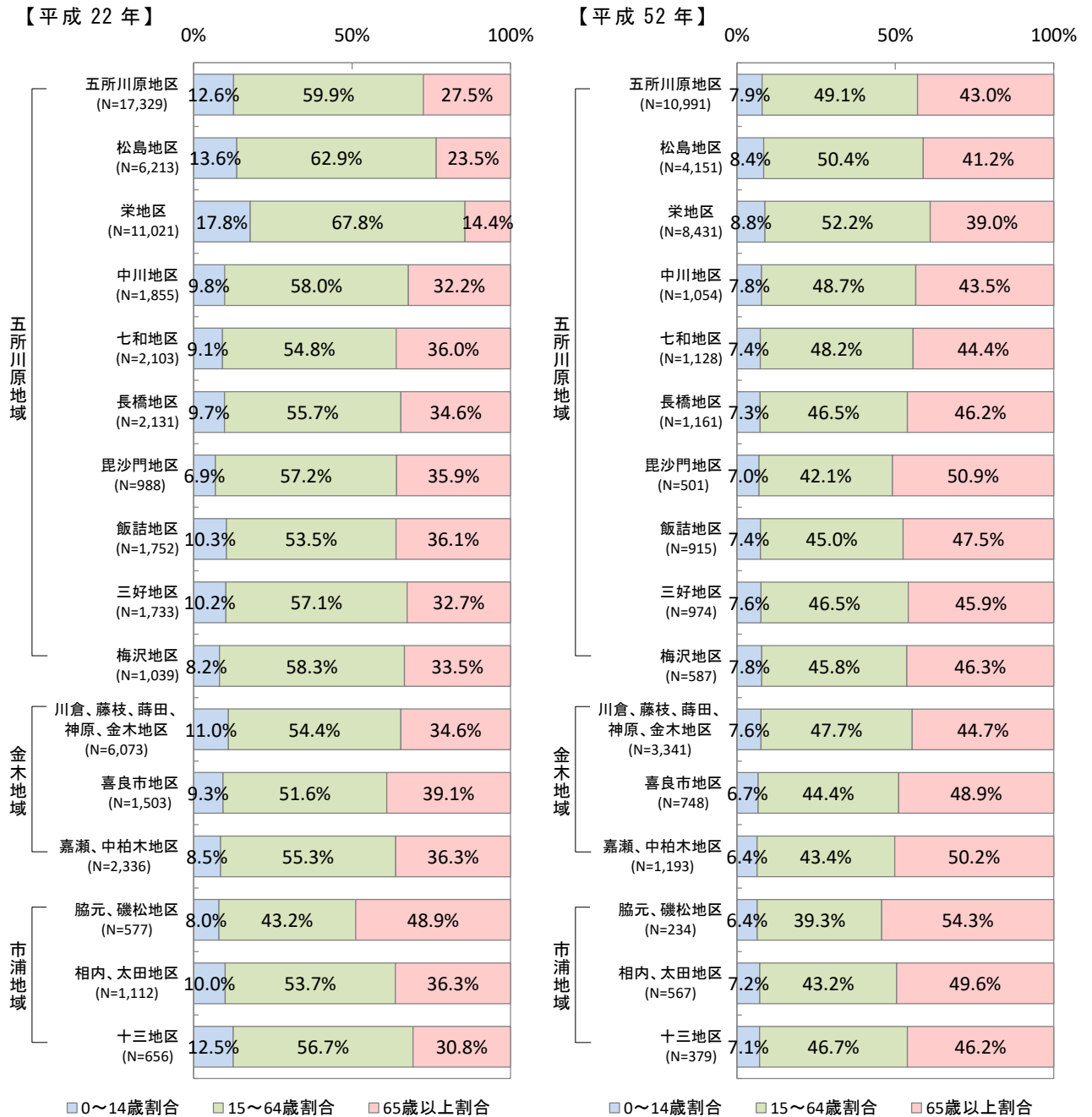


図 地区別年齢構成（平成 22 年、平成 52 年）

資料：五所川原市人口ビジョン

(3) 人口分布

人口分布をみると、五所川原地域及び金木地域の中心部に人口が集積しています。また、主に南北軸の国道 339 号沿線に人口は分布しているものの、沿線から離れたエリアにも居住しています。

なお、人口の増減状況（H22⇔H17）をみると、五所川原地域の南部で増加が見られるものの、五所川原地域及び金木地域の中心部では人口減少が進行しています。

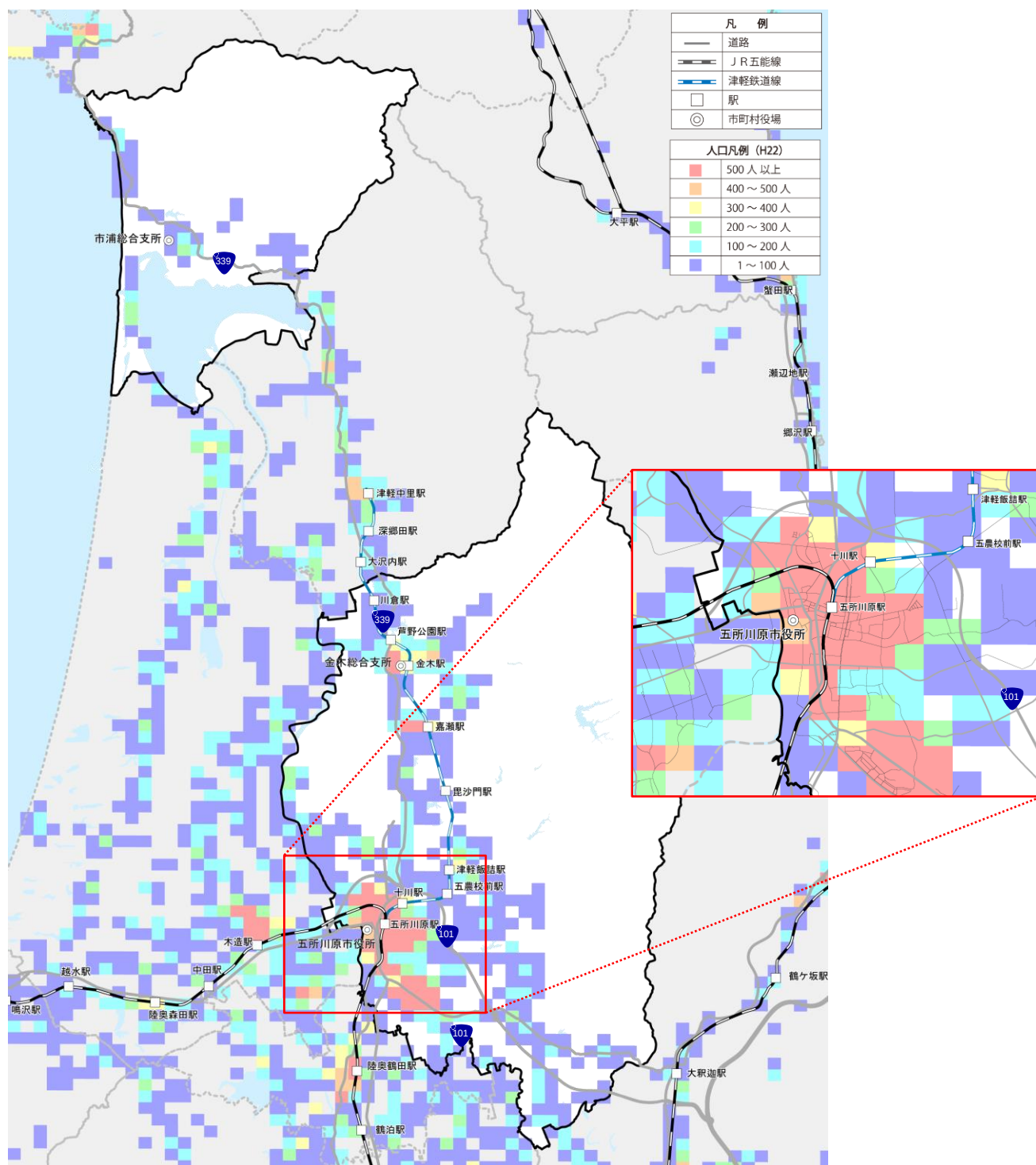


図 平成 22 年度人口分布（500m メッシュ）

資料：H22 国勢調査

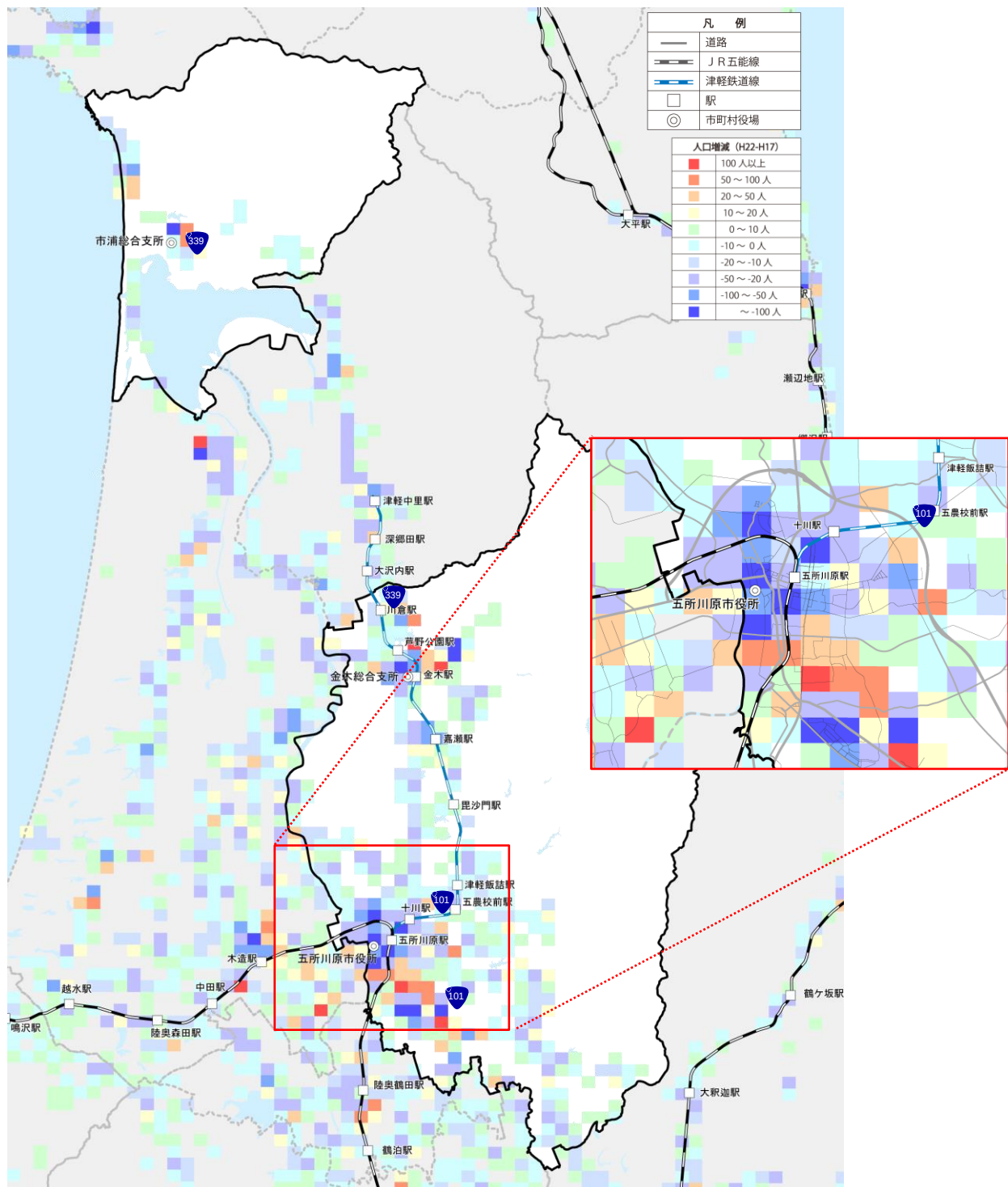


図 人口の増減状況 (H22⇔H17 500m メッシュ)

資料：H22 国勢調査

(1) 医療施設

また、金木地域にも「かなぎ病院」等の複数の施設が立地する一方、市浦地域は「市浦医科診療所」のみとなっています。

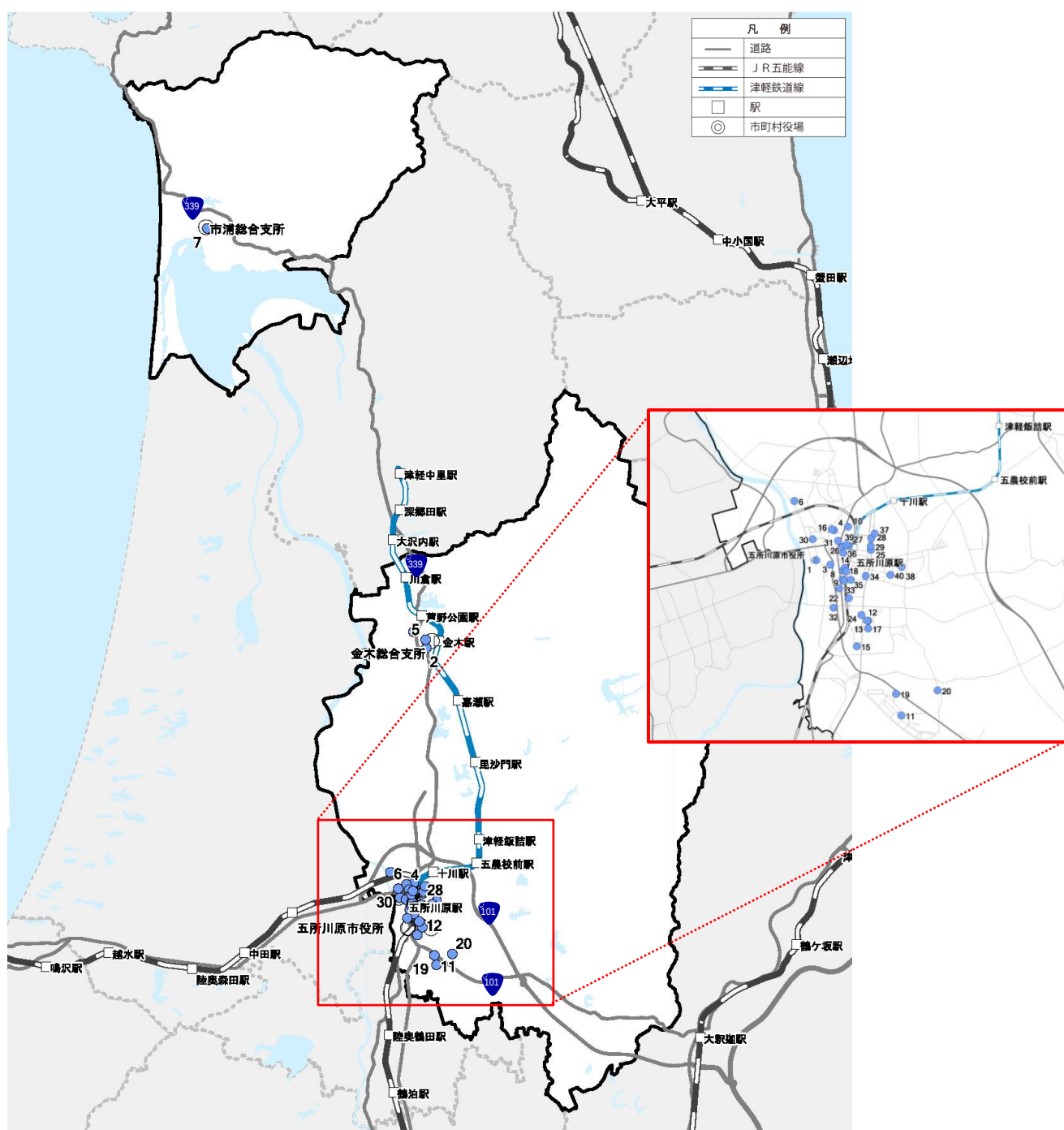


図 医療施設の分布状況

表 医療機関一覧

No	種別	施設名	所在地
1	大病院	つがる西北五広域連合つがる総合病院	字岩木町12番地3
2	大病院	つがる西北五広域連合 かなぎ病院	金木町菅原13番1
3	病院	(医) 済生会 増田病院	字新町41
4	病院	(医) 白生会 胃腸病院	字中平井町142-1
5	病院	(医) 慈仁会 尾野病院	金木町朝日山453
6	病院	(医) 清泉会 布施病院	字芭蕉18-4
7	診療所	五所川原市国民健康保険市浦医科診療所	相内273番地
8	診療所	(医) 佑生会 佐藤内科小児科医院	字弥生町4-2
9	診療所	(医) 康正会 楠美泌尿器科クリニック	字鎌谷町164-3
10	診療所	(医) 俊栄会 川崎胃腸科内科医院	字敷島町56
11	診療所	(医) 華峰会 富田胃腸科内科医院	みどり町4丁目128
12	診療所	いたい皮ふ科	中央四丁目67番地
13	診療所	いちのへ耳鼻科	中央四丁目69番地
14	診療所	(医) 整修会 桂整形外科医院	字弥生町16-1
15	診療所	きむら皮ふ科	中央五丁目14番地
16	診療所	浩和医院	字中平井町130-1
17	診療所	エルム女性クリニック	中央四丁目93番地
18	診療所	(医) 鈴木耳鼻咽喉科医院	字弥生町21
19	診療所	すとうmriクリニック	大字姥范字船橋246-1
20	診療所	てらだクリニック	大字稲実字米崎122-17
21	診療所	(医) 幸生会とやもり内科小児科クリニック	金木町沢部468-1 金木タウンセンターノア内
22	診療所	(医) 和治会 中井整形外科医院	字田町110-2
23	診療所	(医) アンド・アイはら眼科	中央1丁目40番地2
24	診療所	(医) まつもと整形外科クリニック	中央二丁目33番地
25	診療所	(医) 守生会 中村整形外科医院	字一ツ谷508-12
26	診療所	復明堂眼科医院	字旭町65
27	診療所	三上眼科医院	字旭町59
28	診療所	山本耳鼻咽喉科	字一ツ谷516番地2
29	診療所	健生五所川原診療所(津軽保健生活協同組合)	字一ツ谷508-7
30	診療所	中村内科医院	字錦町1-134
31	診療所	江渡内科医院	字旭町7
32	診療所	田町小山クリニック	字田町4-5
33	診療所	こどもクリニックおとも	字鎌谷町163-1
34	診療所	櫛引クリニック	字鎌谷町516-10
35	診療所	清水クリニック	字鎌谷町103-1
36	診療所	駅前クリニック	字大町1
37	診療所	安斎レディスクリニック	字一ツ谷536-18
38	診療所	木村内科医院	松島町2丁目89-4
39	診療所	かねひらクリニック	字旭町55-2
40	診療所	瀬川内科クリニック	松島町1丁目79

資料：西北五医師会、東北厚生局、各病院

(2) 商業施設

商業施設の分布をみると、地域を代表する商業施設である「エルムの街ショッピングセンター」等も立地する五所川原地域に多くの施設が集積しています。

また、金木地域にも「金木タウンセンター」等の施設が立地する一方、市浦地域はスーパー等の商業施設は立地がみられません。

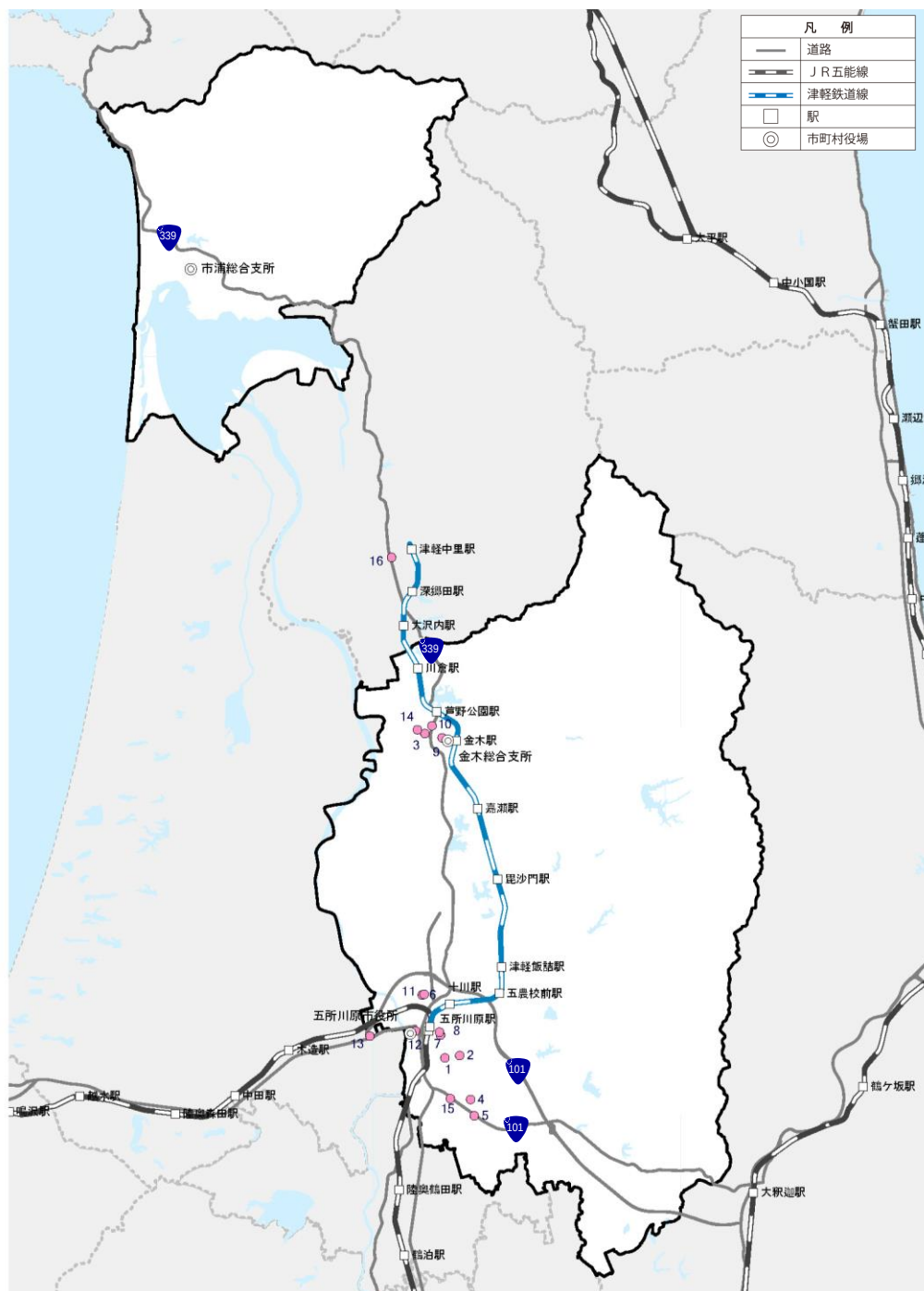


図 大型商業施設の分布状況

表 商業施設一覧

No	種別	店舗名	所在地	営業時間
1	大型	エルムの街ショッピングセンター	唐笠柳藤巻517-1	店舗による
2	大型	アクロスプラザ五所川原	唐笠柳字藤巻627	店舗による
3	大型	金木タウンセンター	金木字沢部460番	9:00～21:00
4	スーパー	マエダストア五所川原南店	稲実米崎123-1	9:00～22:00
5	スーパー	佐藤長広田店	広田榑森10-6	9:00～21:00
6	スーパー	佐藤長新宮店	幾世森171-19	9:00～21:00
7	スーパー	マックスバリュ松島店	鎌谷町519-1	7:00～23:30
8	スーパー	マエダ五所川原北店	一ツ谷547-5	9:00～22:00
9	スーパー	佐藤長金木店	金木町朝日山446-5	9:00～20:00
10	スーパー	食祭館中谷金木店	金木町芦野216-9	8:30～19:00
11	ドラッグストア	薬王堂五所川原新宮店	幾世森175-1	9:00～21:45
12	ドラッグストア	ツルハドラッグ五所川原本町店	本町25-2	9:00～22:00
13	ドラッグストア	スーパードラッグアサヒ柏店	小曲字枝村42-1	9:00～20:00
14	ドラッグストア	ハッピードラッグ金木店	金木町沢部454-8	9:00～21:00
15	ドラッグストア	ハッピードラッグ広田店	姥范船橋242-6	9:00～21:00
16	スーパー	中里ショッピングタウンベル店	津軽郡中泊町中里紅葉坂154	9:00～20:00

資料：全国大型小売店総覧等

(3) 教育施設

教育施設の分布をみると、五所川原、金木、市浦の各地域に小中学校、高等学校が立地し、高等学校は隣接する自治体にも「木造高校」等の立地がみられます。

また、五所川原地域には青森職業能力開発短期大学校、五所川原市立高等看護学院等も立地しています。

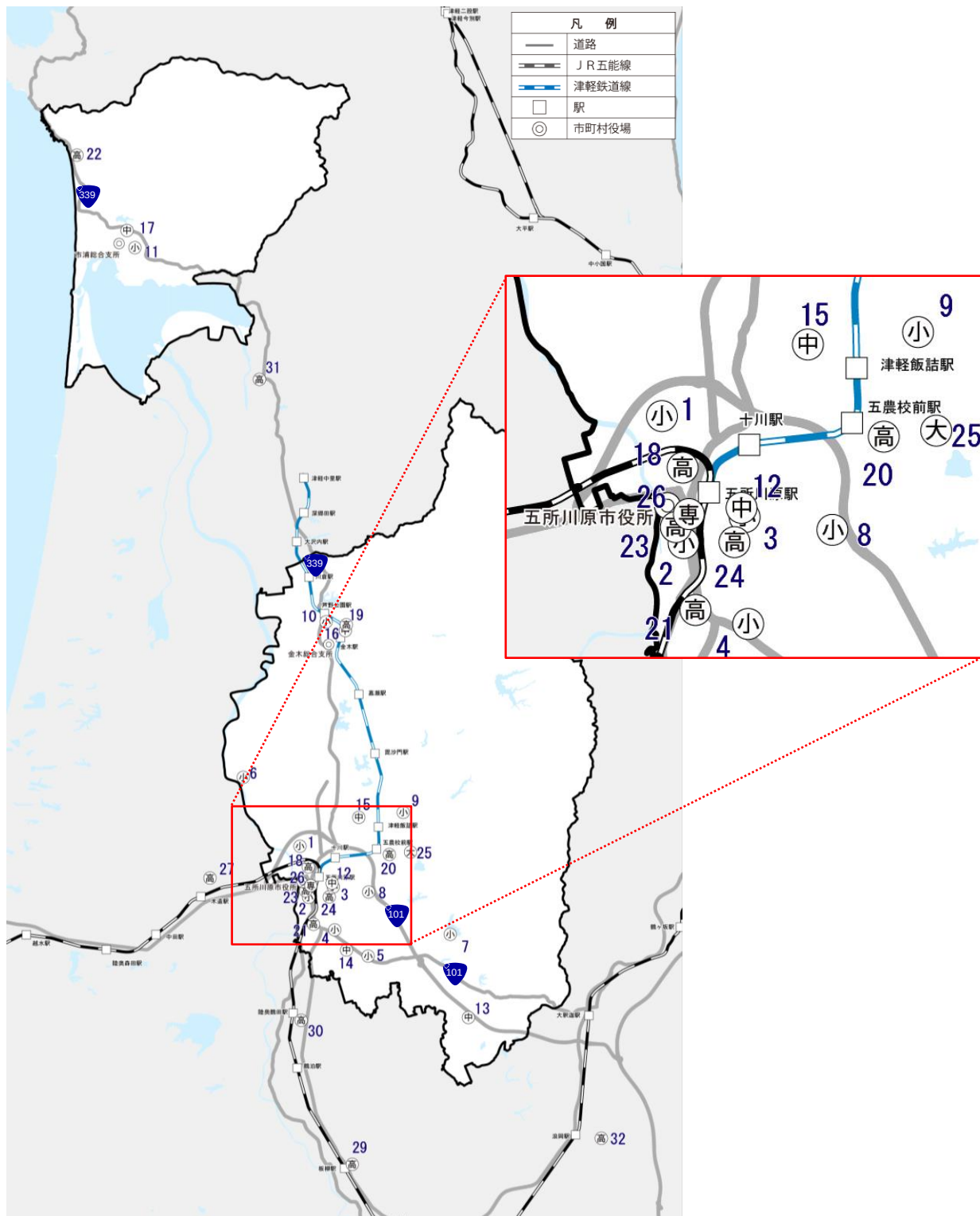


図 教育施設の分布状況

表 教育施設一覧

No	種別	学校名	所在地	生徒数	
1	市内	小学校	五所川原小学校	大字新宮字岡田161	350
2		小学校	南小学校	字蓮沼2	266
3		小学校	中央小学校	松島町二丁目94	336
4		小学校	栄小学校	大字焼菰字船橋156-2	421
5		小学校	三輪小学校	大字七ツ館字虫流6-5	219
6		小学校	三好小学校	大字鶴ヶ岡字唐橋25-2	51
7		小学校	東峰小学校	大字神山字山越1-26	129
8		小学校	松島小学校	大字米田字八ツ橋8	118
9		小学校	いずみ小学校	大字飯詰字石田184	155
10		小学校	金木小学校	金木町芦野84-54	277
11		小学校	市浦小学校	相内岩井85	77
12		中学校	五所川原第一中学校	松島町三丁目1	742
13		中学校	五所川原第二中学校	大字羽野木沢字隈無179-2	75
14		中学校	五所川原第三中学校	大字広田字藤浦105-1	381
15		中学校	五所川原第四中学校	大字沖飯詰字男鹿274-1	93
16		中学校	金木中学校	金木町芦野84-9	205
17		中学校	市浦中学校	相内岩井81	47
18		高等学校	五所川原高等学校	中平井町3の3	593
19		高等学校	金木高等学校	金木町芦野200の403	117
20		高等学校	五所川原農林高等学校	一野坪朝日田12の37	481
21		高等学校	五所川原工業高等学校	湊船越192	420
22		高等学校	金木高等学校市浦分校	磯松赤川3の42	14
23		高等学校	五所川原第一高等学校	元町42	532
24		高等学校	五所川原商業高等学校	唐笠柳藤巻80	343
25		大学	東北職業能力開発大学校附属青森職業能力開発短期大学校	大字飯詰字狐野171-2	116
26	市外	専修学校	五所川原市立高等看護学院	字新町58-2	99
27		高等学校	木造高等学校	つがる市木造日向73の2	517
28		高等学校	鰯ヶ沢高等学校	西津軽郡鰯ヶ沢町舞戸町小夜72	134
29		高等学校	板柳高等学校	北津軽郡板柳町太田西上林46	206
30		高等学校	鶴田高等学校	北津軽郡鶴田町鶴田小泉369の1	192
31		高等学校	中里高等学校	北津軽郡中泊町高根小金石567	50
32		高等学校	浪岡高等学校	青森市浪岡稲村101-2	200

資料：青森県教育委員会「【調査・統計】学校一覧」

(4) 市庁舎等主要施設

五所川原地域には、「五所川原市役所」をはじめ、「青森地方法務局五所川原支局」、「五所川原合同庁舎」等の行政施設、さらには「五所川原市立図書館」、「五所川原市ふるさと交流圏民センター」等も立地しています。

また、金木地域は「金木総合支所」、「津軽三味線会館」、市浦地域には「市浦総合支所」、「しーうらんど海遊館」等の施設が立地しています。

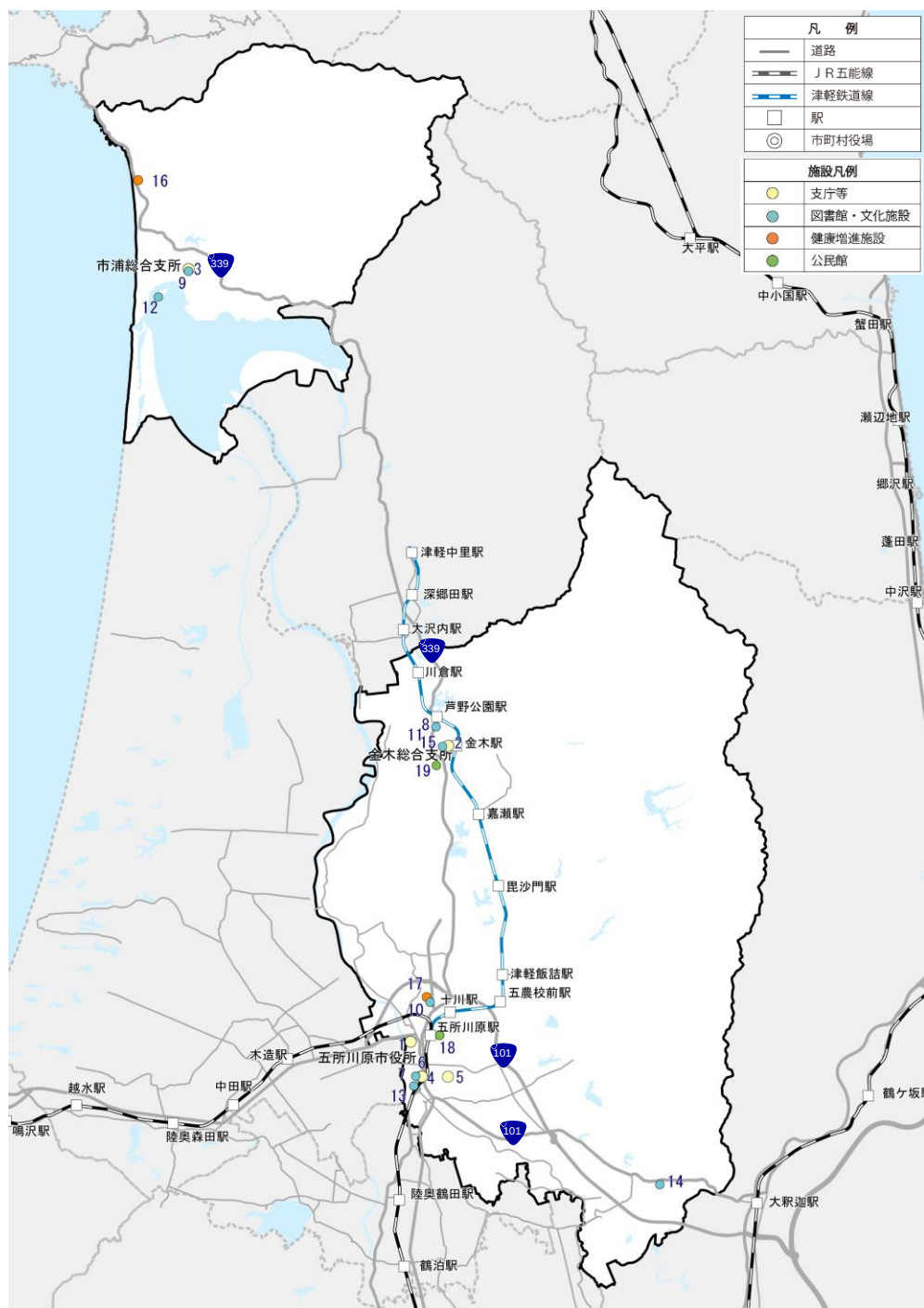


図 公共施設の分布状況

表 市庁舎等主要施設一覧

No	種別	施設名	所在地
1	市役所	五所川原市役所	字岩木町12番地
2	支所	金木総合支所	金木町朝日山319番地1
3	支所	市浦総合支所	相内349番地1
4	警察署	五所川原警察署	字栄町6-1
5	法務局	青森地方法務局五所川原支局	大字唐笠柳字藤巻507-10
6	庁舎	五所川原合同庁舎	字栄町10
7	図書館	五所川原市立図書館	字栄町119
8	図書館	伊藤忠吉記念図書館	金木町芦野345番地12
9	図書館	五所川原市立図書館市浦分館	相内349番地1 市浦総合支所内
10	文化施設	ふるさと交流圏民センター(オルテンシア)	字幾世森24番地15
11	文化施設	津軽三味線会館	金木町朝日山189番地3
12	文化施設	市浦歴史民俗資料館	十三土佐地内
13	文化施設	旧平山家住宅	湊字千鳥144番地1
14	文化施設	楠美家住宅	大字持子沢字隠川695-4
15	文化施設	太宰治記念館「斜陽館」	金木町朝日山189番地3
16	健康増進施設	し~うらんど海遊館	磯松山の井115-126
17	健康増進施設	生き活きセンター	字幾世森218番地6
18	公民館	五所川原中央公民館	字一ツ谷504番地1
19	公民館	金木公民館	金木町菅原367番地1

資料：各施設ホームページ等

(5) 主要施設の移転・統廃合等の動き

五所川原市では、近年、小学校・中学校における統廃合により、通学環境に変化が生じています。

また、平成 26 年には「つがる総合病院」が開院し、平成 30 年には市役所庁舎の新築移転も予定されています。

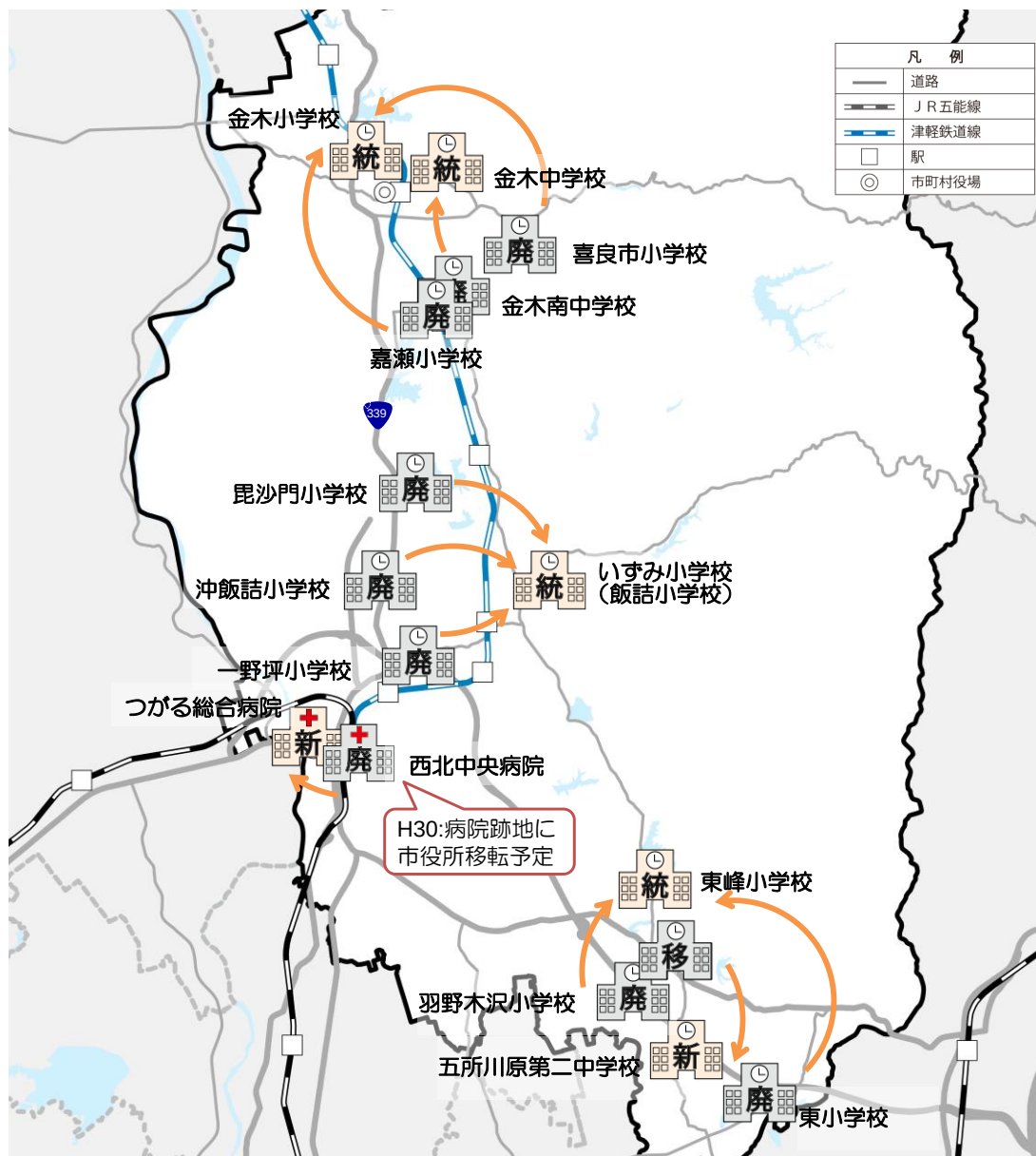


図 主要施設の移転・統廃合等の動き

表 主要施設の移転・統廃合等の動き

No	異動種別	異動年月日	施設名	備考
1	廃止	平成20年3月31日	長橋小学校	東峰小学校へ統合
2			羽野木沢小学校	
3			東小学校	
4	統合	平成20年4月1日	東峰小学校	
5	移転	平成23年8月24日	五所川原第二中学校	旧五所川原高等学校東校舎へ移転
6	廃止	平成24年3月31日	飯詰小学校	いずみ小学校へ統合
7			毘沙門小学校	
8			沖飯詰小学校	
9			一野坪小学校	
10	統合	平成24年4月1日	いずみ小学校	
11	廃止	平成24年3月31日	金木南中学校	金木中学校へ統合
12	廃止	平成27年3月31日	嘉瀬小学校	金木小学校へ統合
13	廃止	平成27年3月31日	喜良市小学校	
14	廃止	平成26年3月31日	国民健康保険五所川原市立西北中央病院	西北五地域の中核病院「つがる総合病院」の開院に伴い、「西北中央病院」は廃止
15	新設	平成26年4月1日	つがる総合病院	
16	移転	平成30年5月予定	五所川原市役所	西北中央病院跡地へ移転

資料：五所川原市等

3-4. 市民などの日常生活の移動実態

(1) 買い物

食料品等の「普段の買い物」の外
出頻度は、各地域ともに「週1～2回」
が3～5割で最も多く、利用交通手段
は各地域ともに約9割が「自家用車」
(送迎含む)です。

移動状況をみると、全市域からE
LM等が立地する松島地区への移動
の多さが顕著となっています。

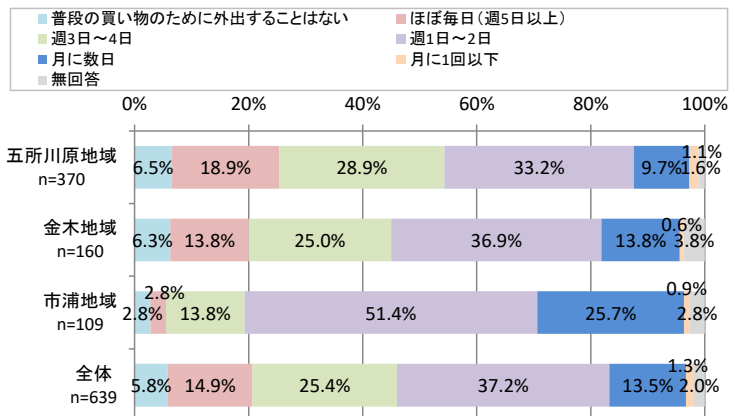


図 外出頻度（普段の買い物）

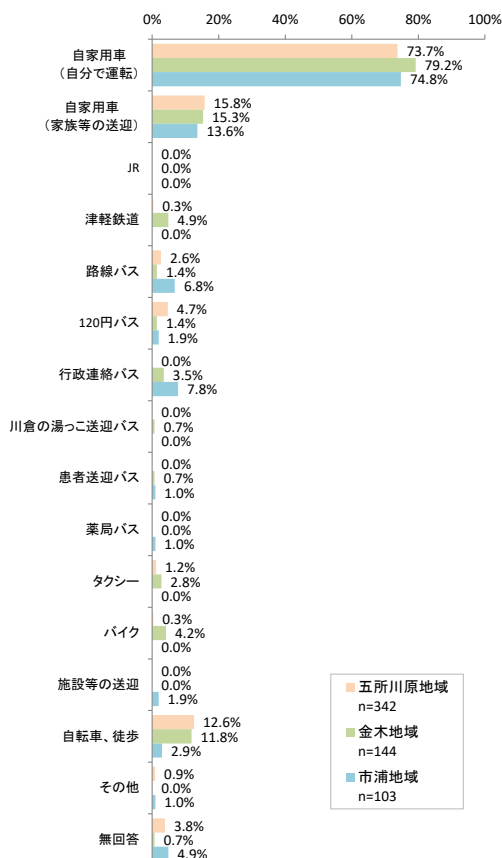


図 利用交通手段
(普段の買い物)

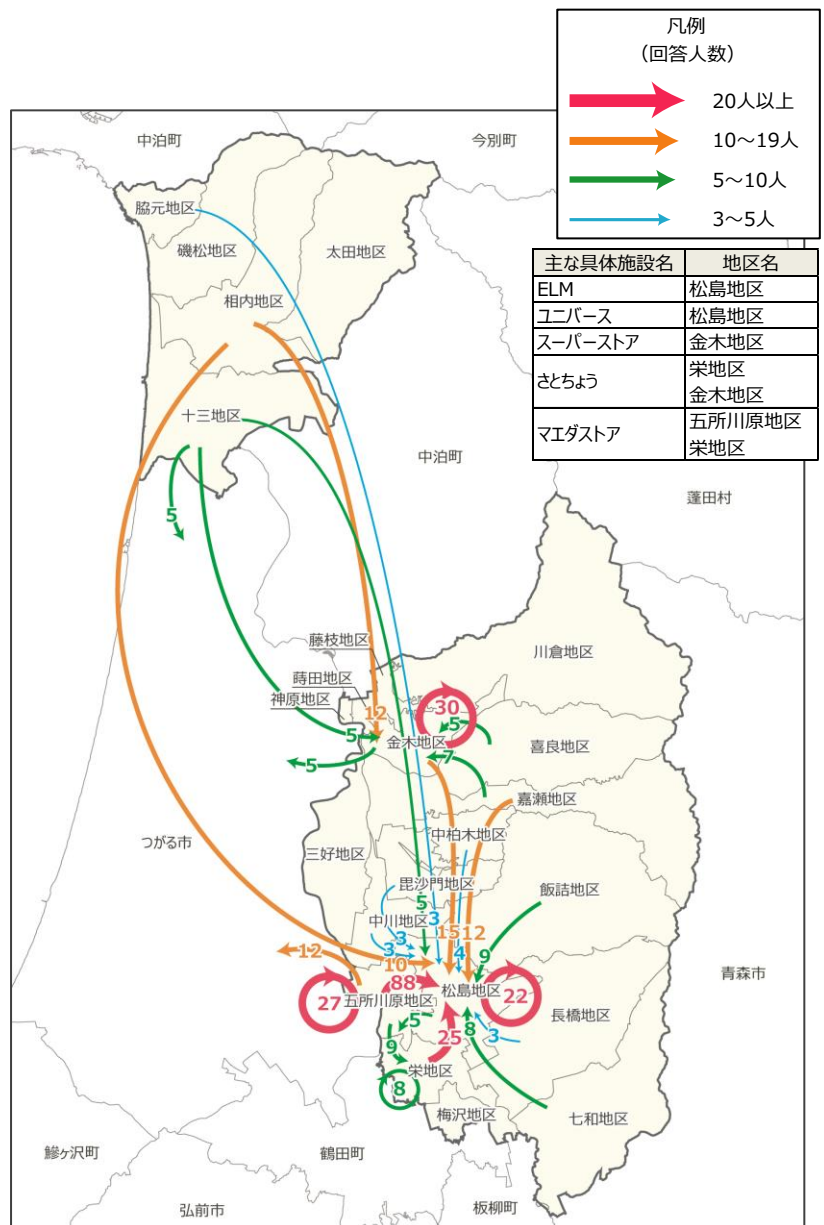


図 移動状況（普段の買い物）

資料：市民アンケート調査
(平成28年10月／n=648人)

また、靴や洋服等の「普段の買い物以外の買い物」の外出頻度は、各地域ともに「月に数日」、「月に1回以下」が多く約6割、利用交通手段は各地域ともに約9割が「自家用車」（送迎含む）です。

移動状況をみると、「普段の買い物」と同様に松島地区への移動が顕著である一方、青森市や弘前市、つがる市等の広域移動が見られます。

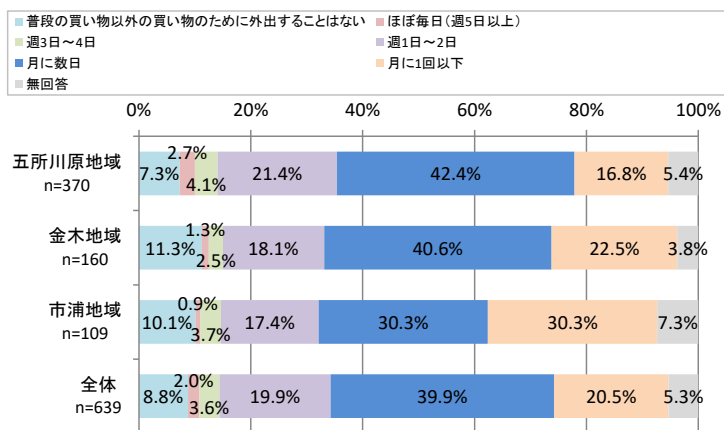


図 外出頻度（普段の買い物以外の買い物）

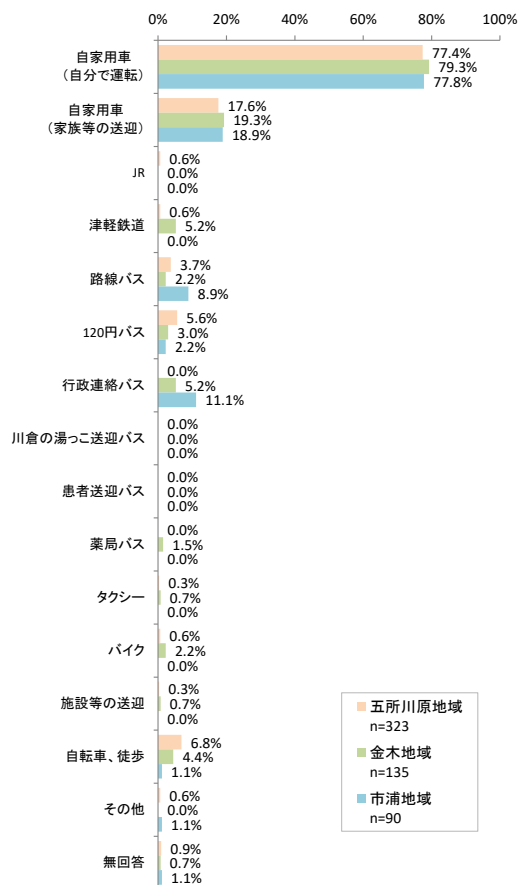


図 利用交通手段
（普段の買い物以外の買い物）

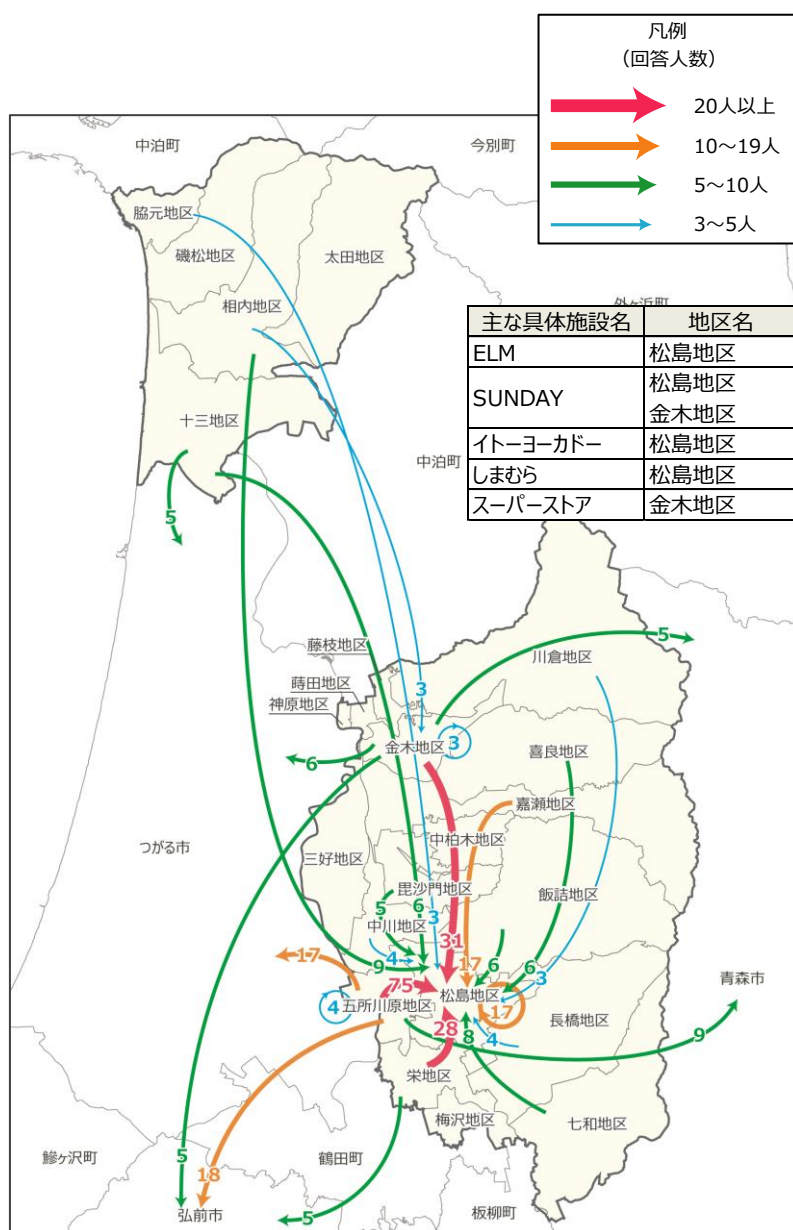


図 移動状況（普段の買い物以外の買い物）

資料：市民アンケート調査
（平成28年10月／n=648人）

(2) 通院

「通院」の外出頻度は、各地域ともに「月に1回以下」が4割以上と最も多く、利用交通手段は各地域ともに約9割が「自家用車」(送迎含む)です。

移動状況を見ると、「つがる総合病院」をはじめとした多くの医療施設が立地する五所川原地区への移動の多さが顕著となっています。

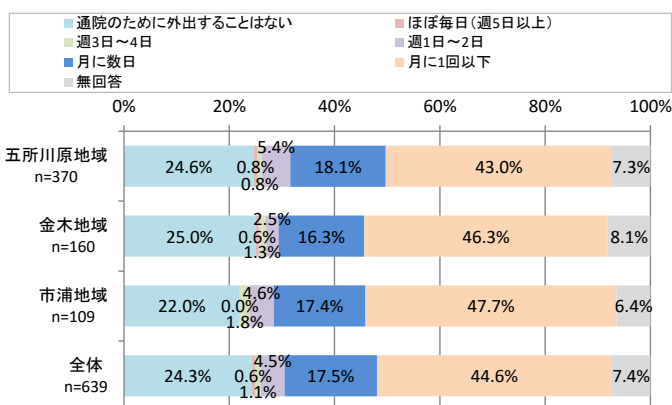


図 外出頻度 (通院)

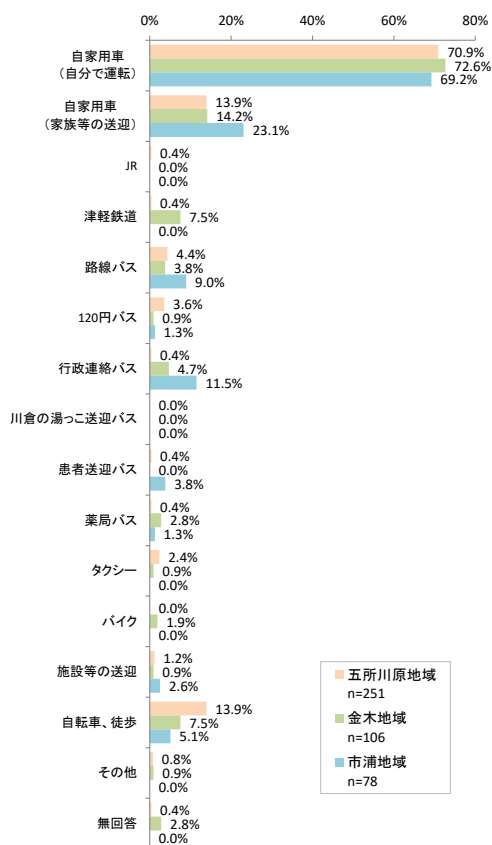


図 利用交通手段 (通院)

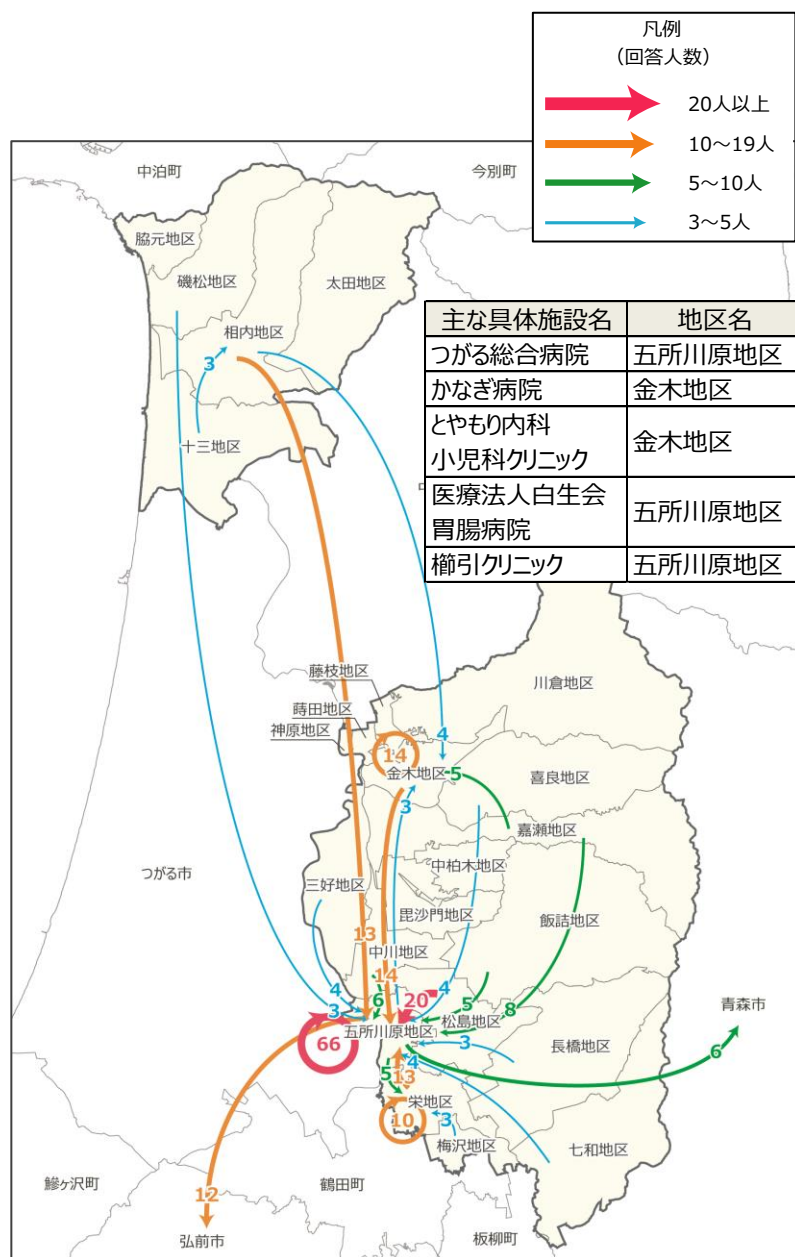
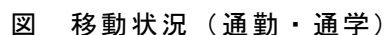
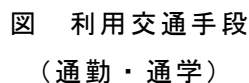
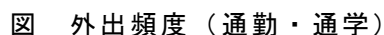


図 移動状況 (通院)

資料：市民アンケート調査
(平成 28 年 10 月 / n=648 人)

「通勤・通学」の外出頻度は、各地域ともに「ほぼ毎日」が最も多く、利用交通手段は各地域ともに約 9 割が「自家用車」（送迎含む）です。



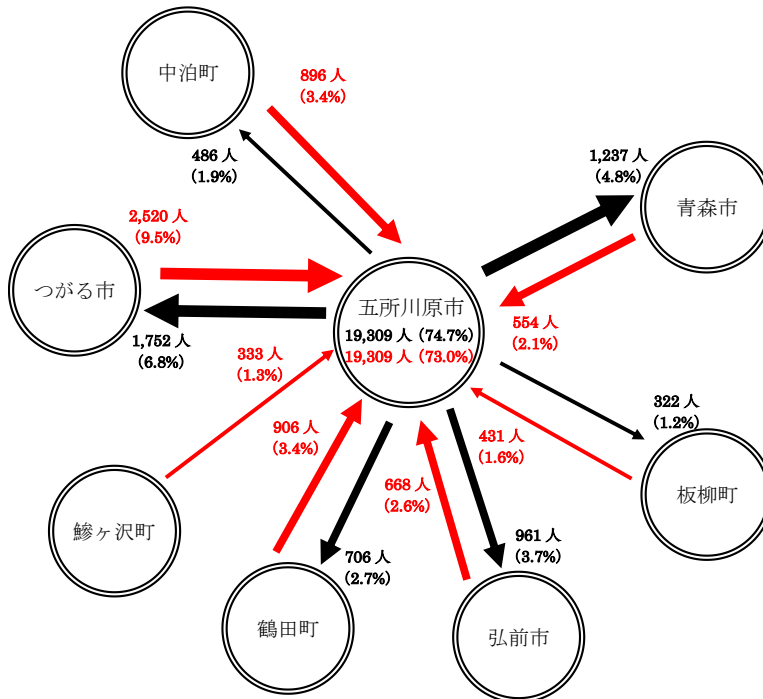
29

■周辺市町村間における通勤・通学(国勢調査結果)

五所川原市の通勤、通学流動をみると、五所川原市居住者は通勤・通学ともに市内での動きが多く、市外では隣接するつがる市、青森市等への流出が目立ちます。

また、周辺自治体からの流入をみると「つがる市」からの流入が目立ち、特に通学については、五所川原市内に通学している総数の約20%が「つがる市」から五所川原市へ通学している状況です。

<五所川原市関連の通勤者の流動(H22)>



通勤	500人未満	500人～1,000人	1,000人以上
当市から他市町村への移動	→	→	→
他市町村から当市への移動	←	←	←

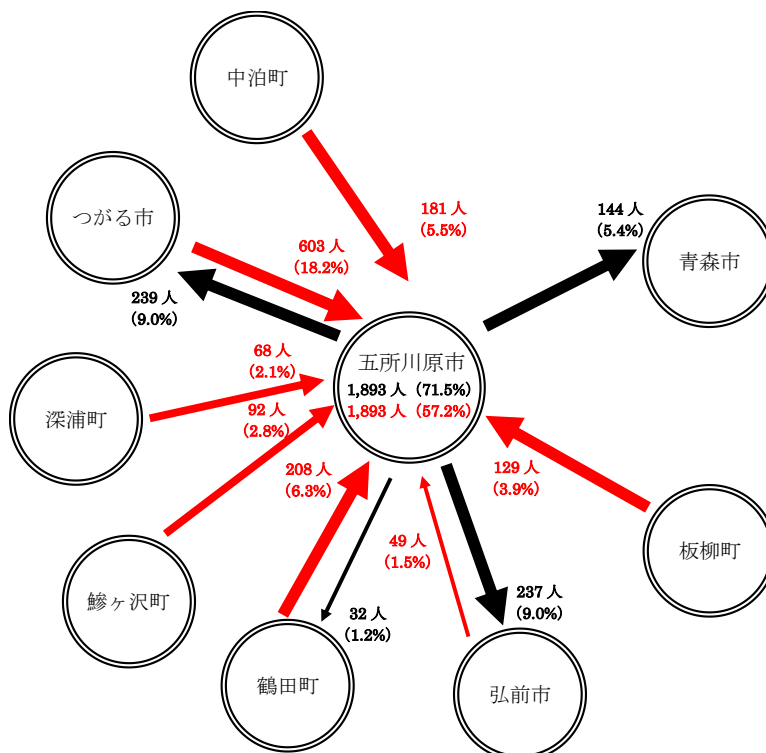
※構成比1.0%以上の流動のみ表示

【通勤者流動図について】

黒→：五所川原市居住の就業者がどこへ通勤しているかを表した流動。数値は就業者数、()内数値は五所川原市居住の就業者全数25,832人に対する割合。

赤→：五所川原市内の就業者がどこから通勤しているかを表した流動。数値は就業者数、()内数値は五所川原市内の就業者全数26,466人に対する割合。

<五所川原市関連の通学者の流動(H22)>



通学	50人未満	50人～100人	100人以上
当市から他市町村への移動	→	→	→
他市町村から当市への移動	←	←	←

※構成比1.0%以上の流動のみ表示

【通学者流動図について】

黒→：五所川原市居住の通学者がどこへ通学しているかを表した流動。数値は通学者数、()内数値は五所川原市居住の通学者全数2,648人に対する割合。

赤→：五所川原市内の通学者がどこから通学しているかを表した流動。数値は通学者数、()内数値は五所川原市内の通学者全数3,312人に対する割合。

資料：H22 国勢調査

■ 高校生の通学状況（高校アンケート結果 平成 28 年 12 月実施）

五所川原市内及び市外に立地する高等学校に通学する生徒の出身地（出身中学）をみると、五所川原市内に立地する高等学校では約半数をつがる市等の市外出身の生徒が占めています。

なお、五所川原市外に立地する高等学校に占める市内出身の生徒は 2 割弱となっています。

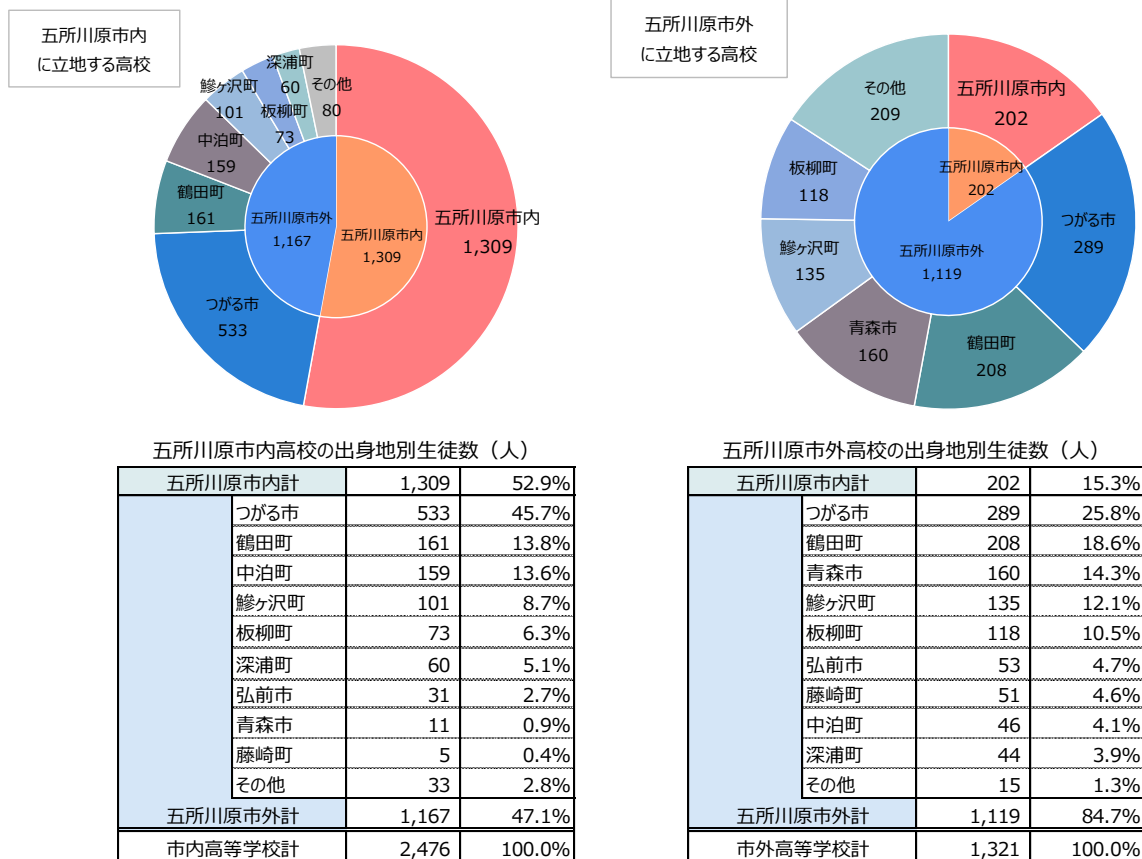


図 五所川原市内及び市外高等学校の生徒出身地構成

資料：高校アンケート調査
（平成 28 年 12 月／n=12 校）

五所川原市内外に通学する生徒の通学時交通手段をみると夏期、冬期ともに路線バス等の公共交通利用者は 100 人以上存在します。特に、冬期は徒歩・自転車が増え、保護者送迎が多くなっています。

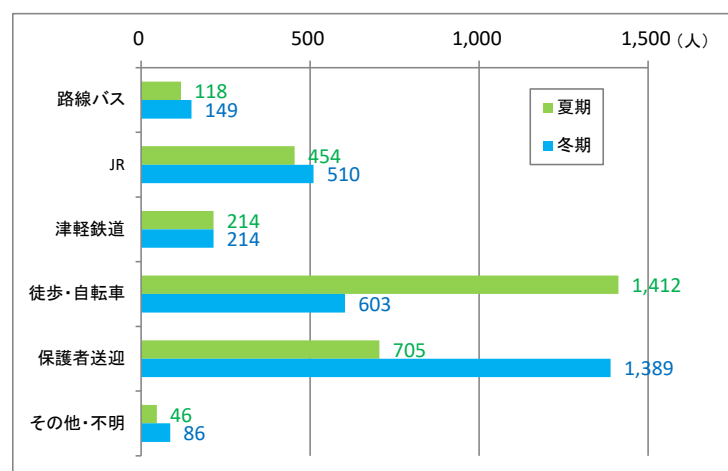


図 五所川原市内及び市外高等学校生徒の通学手段

資料：高校アンケート調査
（平成 28 年 12 月／n=12 校）

3-5. 公共交通の現状

(1) 公共交通ネットワークの現状

① 公共交通の運行状況

五所川原市内には鉄道（JR 五能線、津軽鉄道）、路線バス（弘南バス）、タクシーといった公共交通が運行しています。また、スクールバス、行政連絡バス、薬局バス等の多様な交通モードが存在しています。

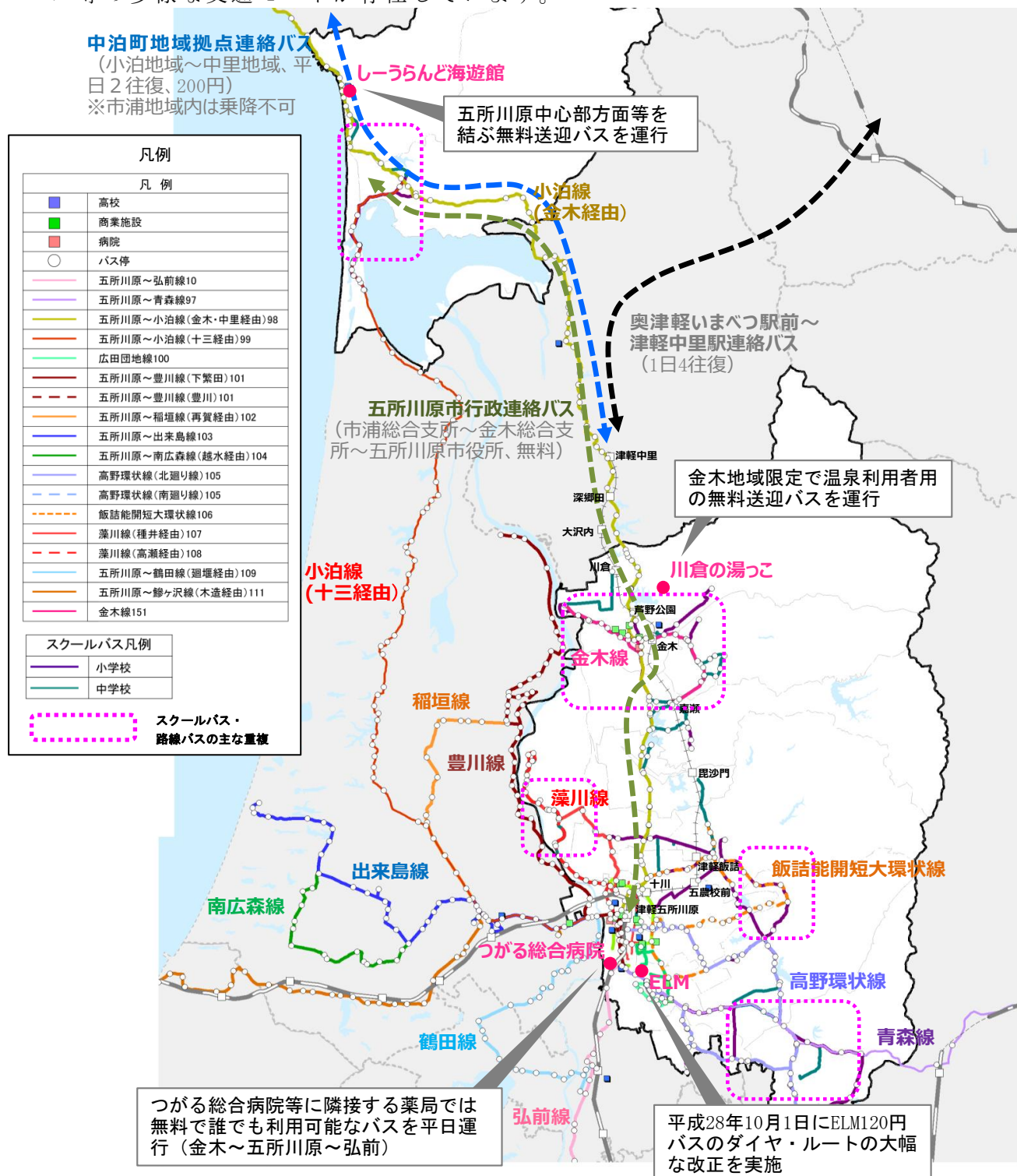


図 五所川原市の公共交通の運行状況

②公共交通のカバー状況

路線バスのバス停または鉄道駅へ徒歩でのアクセスが可能な公共交通の利便性が高いエリア（バス停から半径 300m 圏又は鉄道駅から半径 500m 圏）に居住している人口は、五所川原市全体の約 85% となっています。

表 バス停、鉄道駅へ徒歩でアクセス可能な人口

区分	平成22年総人口(58,372人)					
	圏域内		圏域外		全市合計	
	人口(人)	割合	人口(人)	割合	人口(人)	割合
バスが利用しやすい圏域	48,164	82.5%	10,208	17.5%	58,372	100.0%
鉄道が利用しやすい圏域	7,735	13.3%	50,637	86.7%	58,372	100.0%
バス+鉄道が利用しやすい圏域	49,378	84.6%	8,995	15.4%	58,372	100.0%

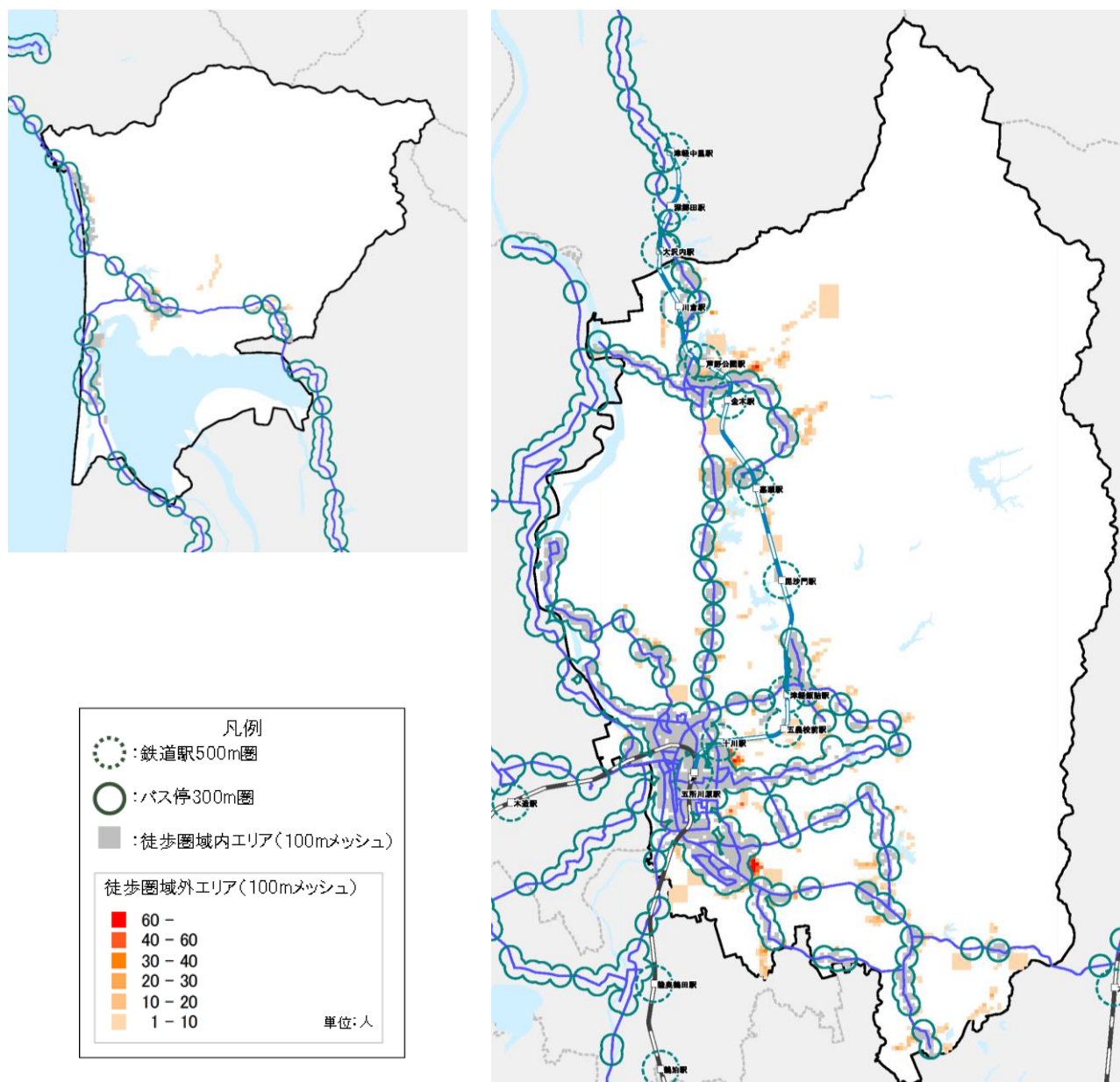
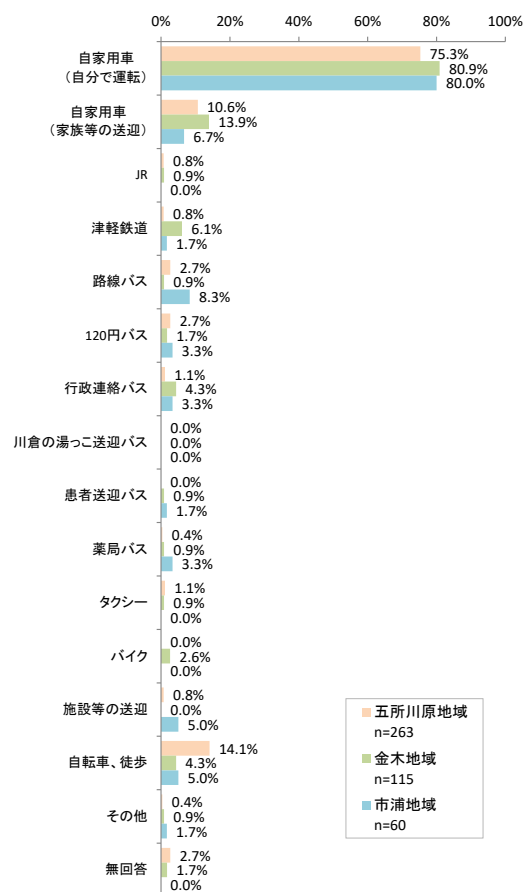


図 バス停、鉄道駅の徒歩圏域と人口分布

③市民の公共交通利用状況等

日常的な生活における利用交通手段をみると、3地域ともに自家用車利用が顕著であり、路線バス、J R、津軽鉄道等の公共交通利用率は1割未満の状況です。

【通勤・通学】



【普段の買い物】

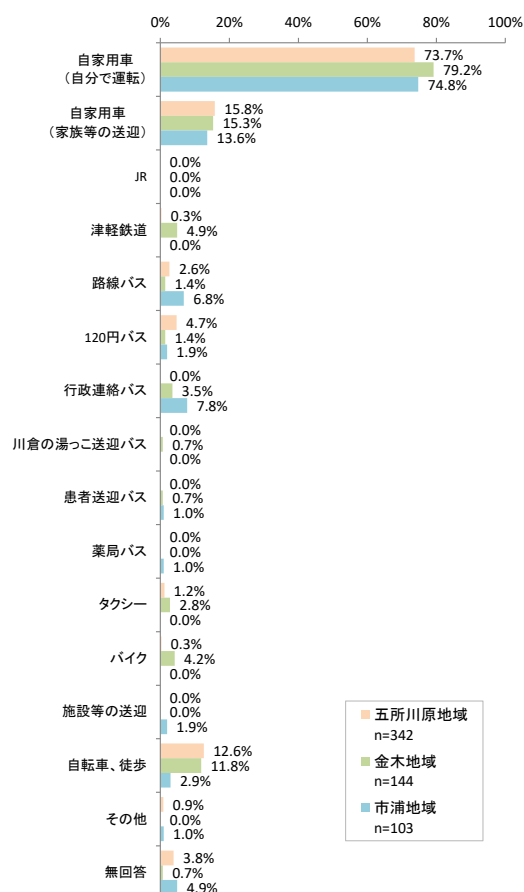


図 通勤・通学、買い物時の利用交通手段（再掲） 資料：市民アンケート調査（平成28年10月／n=648人）

公共交通の財政負担状況は、3地域ともに「知らなかった」が約6割と多く、「負担のことは知っていたが、金額は知らなかった」と合わせると約9割になります。

なお、公共交通の財政負担については「現状並みの財政負担の中で、より良い公共交通を考えるべき」が5割弱で最も多くなっています。

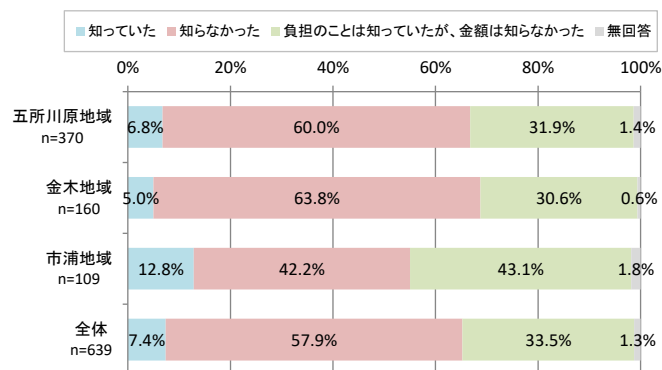


図 公共交通維持の財政負担の認知状況

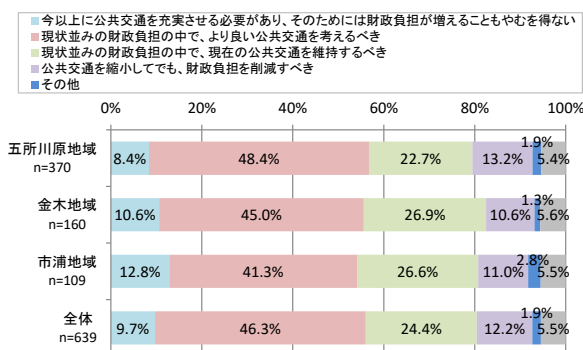


図 公共交通に対する財政負担についての考え

資料：市民アンケート調査（平成28年10月／n=648人）

(2) 鉄 道

①運行状況

五所川原市内には JR 五能線の五所川原駅及び津軽鉄道の津軽五所川原駅等 9 駅（うち有人駅 2 駅）が立地しています。

表 五所川原市関連の鉄道概要

事業者	路線名	駅名	平日運行本数(便)		有人駅	津軽五所川原 までの運賃(円)	備考
			上り	下り			
JR	五能線	五所川原	13	13	●	—	運行本数には特急3本含む
津軽鉄道		津軽五所川原	—	14	●	—	
		十川	13	14		170	
		五農校前	13	14		210	
		津軽飯詰	14	14		260	
		毘沙門	11	13		390	
		嘉瀬	14	14		480	
		金木	14	15	●	550	
		芦野公園	15	15		640	
		川倉	12	12		670	
		大沢内	15	15		750	中泊町内に立地
		深郷田	12	12		770	中泊町内に立地
		津軽中里	15	—	●	850	中泊町内に立地

資料：事業者 HP 等

②利用状況

利用状況をみると JR 利用者は横ばい傾向であるものの、津軽鉄道については、旅客収入には年変動もみられるが、平成 22 年時点と比較すると旅客数・旅客収入ともに減少傾向にあります。

なお、津軽鉄道の駅別乗降者数をみると、市街地部に隣接する「津軽五所川原・金木・津軽中里」、高校に隣接する「五農校前」の利用者が多い状況です。

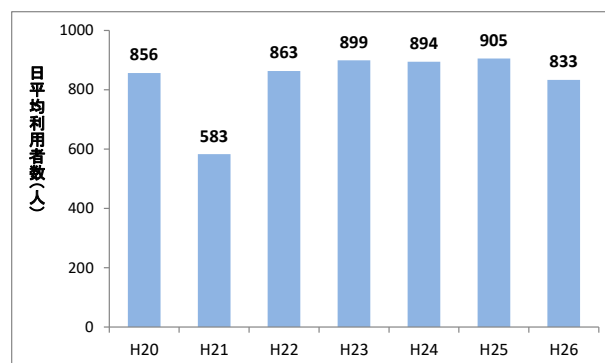
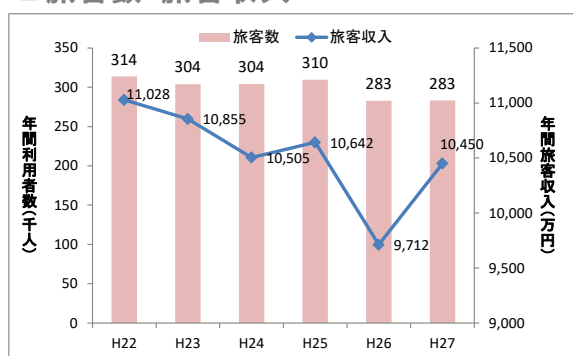


図 JR 五所川原駅の利用者数推移

資料：五所川原市統計書

■ 旅客数・旅客収入



■ 駅別乗降者数

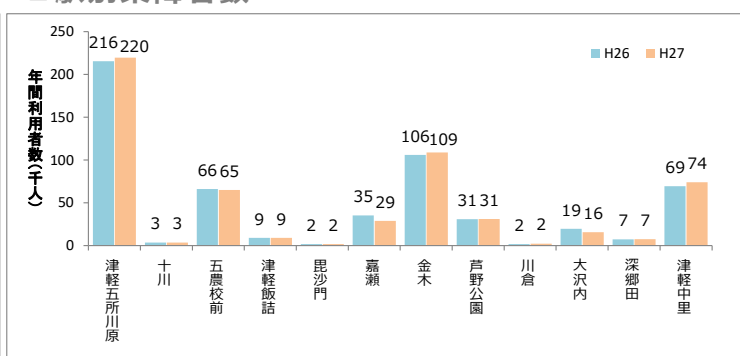


図 津軽鉄道の旅客数・旅客収入等の推移

資料：津軽鉄道

(3) 路線バス

① 運行状況

五所川原市内には、補助路線 19 路線と ELM120 円バスが運行しています。

表 五所川原市内を運行する路線バス

路線・系統名称		路線概要				運行事業者
		発着	主な経由	便数(平日)	運賃(最大)	
五所川原～弘前線(板柳・鶴田・藤崎・ジャスコ)	複数	弘前バスターミナル 五所川原駅前	藤崎青銀前、鶴田診療所前	上り 6便 下り 6便	980円	弘南バス
五所川原～青森線	国県	青森営業所 五所川原駅前	新青森駅南口	上り 19便 下り 19便	1,380円	弘南バス
五所川原～小泊線(金木・中里経由)	国県	五所川原営業所 小泊	五所川原駅前、金木案内所、しーうらんど海遊館前	上り 6便 下り 6便	1,730円	弘南バス
五所川原～小泊線(十三経由)	国県	五所川原営業所 小泊	五所川原駅前、イオンモールつがる柏	上り 7便 下り 10便	1,730円	弘南バス
広田団地線	複数	市営住宅前 木造高校	五所川原駅前	1便	530円	弘南バス
五所川原～豊川線(下繁田西口)	複数	五所川原営業所 下繁田	五所川原駅前	上り 2便 下り 2便	1,000円	弘南バス
五所川原～豊川線(豊川)	国県	五所川原営業所 豊川	五所川原駅前	上り 7便 下り 6便	710円	弘南バス
五所川原～稲垣線(再賀経由)	国県	五所川原営業所 下繁田	五所川原駅前、木造駅通り	上り 3便 下り 3便	1,400円	弘南バス
五所川原～出来島線	国県	五所川原営業所 出来島	五所川原駅前、木造駅通り	上り 5便 下り 5便	1,140円	弘南バス
五所川原～南広森線(越水経由)	国県	五所川原営業所 南広森	五所川原駅前、木造駅通り	上り 4便 下り 4便	1,070円	弘南バス
高野環状線(北廻り線)	市単独	五所川原営業所	五所川原駅前、上高野	3.5便	980円	弘南バス
高野環状線(南廻り線)	市単独	五所川原営業所	五所川原駅前、上高野	3.5便	980円	弘南バス
飯詰能開短大環状線(北廻り線)	市単独	五所川原営業所	五所川原駅前、青森能開短大	3便	970円	弘南バス
飯詰能開短大環状線(南廻り線)	市単独	五所川原営業所	五所川原駅前、青森能開短大	3便	970円	弘南バス
藻川線(種井経由)	市単独	五所川原営業所 下藻川	五所川原駅前、種井	上り 3便 下り 3便	620円	弘南バス
藻川線(高瀬経由)	市単独	五所川原営業所 下藻川	五所川原駅前、高瀬	上り 4便 下り 3便	620円	弘南バス
五所川原～鶴田線	複数	五所川原営業所 鶴遊館	五所川原駅前、鶴田駅前	上り 3便 下り 3便	850円	弘南バス
五所川原～鎌ヶ沢線	国県	五所川原営業所 小夜	五所川原駅前、鎌ヶ沢駅前	上り 10便 下り 10便	1,090円	弘南バス
金木線	市単独	嘉瀬駅前 神原	金木駅前、金木病院前	上り 5便 下り 3便	390円	弘南バス
ELM120円バス 1A・1B	自主	五所川原駅 ELM	大町、本町	上り 6便 下り 6便	120円	弘南バス
ELM120円バス 2A・2B	自主	生き活きセンター ELM	鎌谷町十文字、千島団地	上り 5便 下り 6便	120円	弘南バス
ELM120円バス 3A・3B	自主	若葉2丁目 ELM	十川駅前、松島町5丁目	上り 4便 下り 4便	120円	弘南バス
ELM120円バス 4A・4B	自主	五所川原駅前 ELM	胃腸病院、富士見団地	上り 4便 下り 4便	120円	弘南バス
ELM120円バス 5A・5B	自主	コミセン栄 ELM	山中校前、米崎	上り 5便 下り 5便	120円	弘南バス
ELM120円バス 6A・6B	自主	ELM	栄小学校、五所川原営業所	上り 5便 下り 5便	120円	弘南バス

② 利用状況

路線バスの利用者は、減少傾向にあります。

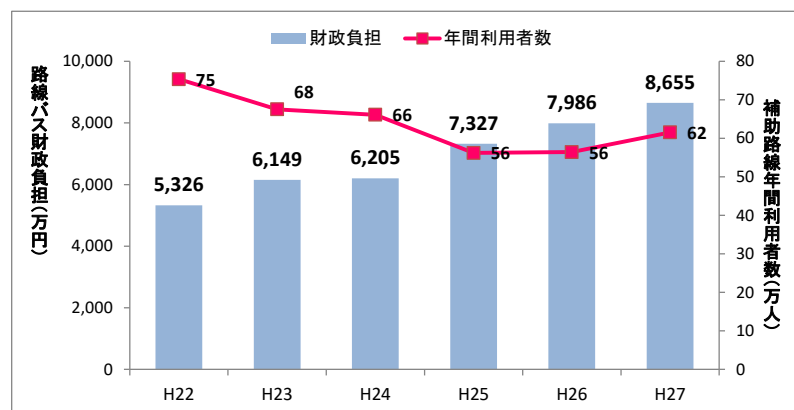


図 路線バスに対する財政負担額と利用者数の推移

資料：五所川原市

③補助金額（赤字補てん）の推移

公共交通を維持するため、市では路線バスに対して補助金を行っています。

路線バスの近年の利用者減少に伴い、赤字補てんである五所川原市の補助額は増加傾向にあります。

また、各路線の収支状況をみると、金木地域内の路線については収支率 10%未満、五所川原地域内の高野東高校環状線、飯詰能開短大環状線については収支率 20%前後であるものの補助金額が大きく、問題を抱える路線であることがうかがえます。

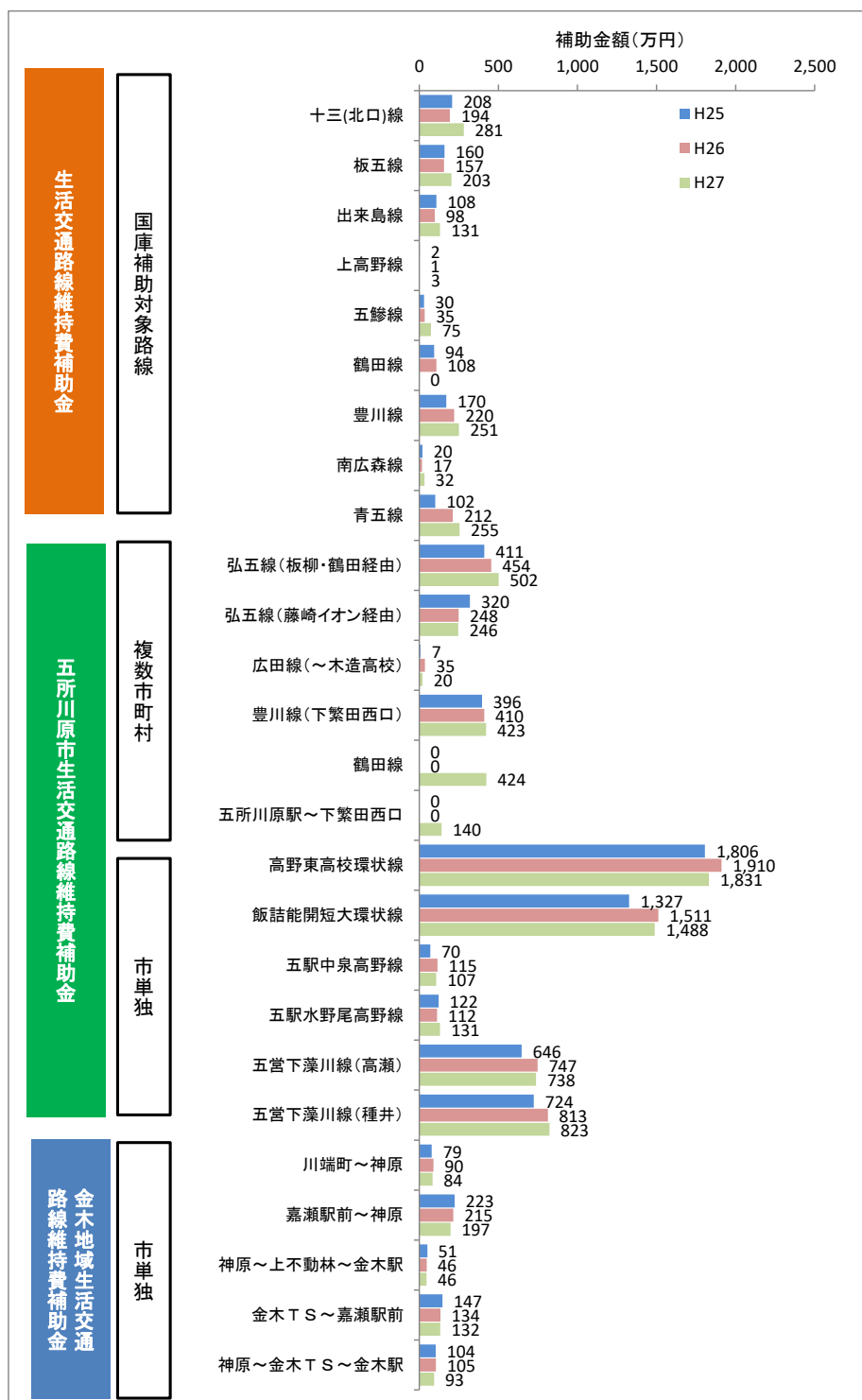


図 路線別補助額の推移 (H25～27)

資料：五所川原市

表 路線別収支の状況（H27）

補助区分		申請 番号	年 度	平成27年度収支状況 (赤字:30%未満)			
				経常費用(円)	経常収入(円)	収支率	市補助額(円)
生活交通 路線維持 費補助金	国庫 補助 対象 路線	11	十 三 (北 口) 線	43,329,187	24,427,946	56%	2,809,000
		12	板 五 線	19,103,048	12,423,373	65%	2,028,000
		13	出 来 島 線	26,855,425	16,026,377	60%	1,311,000
		14	上 高 野 線	14,674,614	10,683,842	73%	31,000
		15	五 簾 線	64,289,015	44,998,202	70%	745,000
		19	豊 川 線	20,321,343	11,338,458	56%	2,505,000
		20	南 広 森 線	19,537,922	14,912,473	76%	321,000
		25	青 五 線	177,168,942	105,638,851	60%	2,547,000
五所川原市生活交 通路線維持費補助 金	複 数 市 町 村	1	弘 五 線	20,941,533	5,874,116	28%	5,021,970
		2	弘五線(藤崎ジャスコ経由)	22,344,889	7,909,059	35%	2,459,865
		17	広田線(～木造高校)	1,100,239	793,700	72%	197,963
		21	豊川線(下繁田西口)	10,445,736	2,248,391	22%	4,226,551
		23	鶴 田 線	16,067,076	7,002,498	44%	4,243,129
		24	五所川原駅～下繁田西口	20,529,123	15,592,172	76%	1,402,094
	市 単 独	50,51	高野東高校環状線	22,004,631	3,697,426	17%	18,307,205
		48,49	飯詰能開短大環状線	19,512,486	4,628,292	24%	14,884,194
		52	五所川原駅中泉高野線	1,588,668	517,624	33%	1,071,044
		53	五所川原駅水野尾高野線	1,958,631	652,559	33%	1,306,072
		54	五宮下藻川線(高瀬)	9,984,525	2,607,527	26%	7,376,998
		55	五宮下藻川線(種井)	9,599,784	1,372,365	14%	8,227,419
金木地域 生活交通 路線維持 費補助金	市 単 独	8	川 端 町 ～ 神 原	835,701	0	0%	835,701
		9	嘉瀬駅前～神原	2,086,914	114,000	5%	1,972,914
		10	神原～上不動林～金木駅	459,176	0	0%	459,176
		11	金 木 T S ～ 嘉瀬駅前	1,458,993	134,220	9%	1,324,773
		12	神原～金木 T S ～ 金木駅	1,015,754	83,130	8%	932,624
合計				547,213,355	293,676,601	54%	86,546,692

資料：五所川原市

(4) タクシー

五所川原市内には、タクシー事業者が8社存在します。五所川原地域内の事業者は30台以上を保有する事業者もみられるものの、金木及び市浦地域の事業者は、5台以下の比較的規模の小さな事業所が立地しています。

表 五所川原市のタクシー事業者一覧

地域	会社名	本社所在地	運行台数(台)				
			特大	大型	中型	小型	合計
五所川原地域	(株)尾崎タクシー	青森県五所川原市字新町90	3	1	1	25	30
	五所川原交通(株)	青森県五所川原市鎌谷町504-2	2	-	1	28	31
	(有)外崎商事	青森県五所川原市字旭町29-1	1	-	-	11	12
	(有)成田観光タクシー	青森県五所川原市字大町26-25	-	-	-	4	4
	計		6	1	2	68	77
金木地域	(有)金木観光タクシー	青森県五所川原市金木町朝日山387-4	1	-	-	4	5
	(有)金木タクシー	青森県五所川原市金木町朝日山362-17	-	-	-	4	4
	計		1	-	-	8	9
市浦地域	(有)しうら観光	青森県五所川原市十三深津124	1	-	-	2	3
	(有)市浦タクシー	青森県五所川原市相内岩井81-387	1	-	-	1	2
	計		2	-	-	3	5
合計			9	1	2	79	91

資料：青森県タクシー協会 HP

(5) 五所川原市行政連絡バス

行政連絡バスは、市町村合併以降に市役所窓口利用者の移動支援として五所川原市役所～金木総合支所～市浦総合支所(し～うらんど海遊館)間を運行しています。

平日のみの運行となっており、火曜日は1往復、火曜日以外は2往復運行しています。

年間利用者数は年々減少傾向、車両の老朽化に伴い維持費は増加傾向にあります。

午前便/1回 月・水・木・金曜日
(往路)
市浦総合支所 8時40分 ～ 金木総合支所 9時45分 ～ 五所川原市役所 10時15分
(復路)
五所川原市役所 10時30分 ～ 金木総合支所 11時00分 ～ 市浦総合支所 11時55分
※「し～うらんど海遊館」利用者が乗車した場合 し～うらんど海遊館 11時40分
午後便/1回 月・水・木・金曜日
(往路)
市浦総合支所 13時50分 ～ 金木総合支所 15時00分 ～ 五所川原市役所 15時30分
※「し～うらんど海遊館」利用者が乗車した場合 し～うらんど海遊館 14時10分
(復路)
五所川原市役所 15時40分 ～ 金木総合支所 16時10分 ～ 市浦総合支所 16時55分
火曜日の運行時間
(往路)
市浦総合支所 8時40分 ～ 金木総合支所 9時45分 ～ 五所川原市役所 10時15分
(復路)
五所川原市役所 14時00分 ～ 金木総合支所 14時30分 ～ 市浦総合支所 15時10分

図 運行時間(夏ダイヤ)

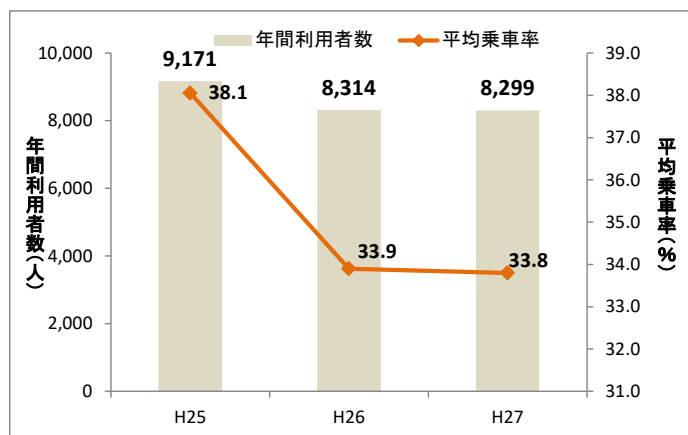


図 年間利用者の推移

資料：五所川原市

（６）その他の交通資源

①スクールバス

スクールバスは小中学校の統廃合に伴い、五所川原市内の 7 小学校、6 中学校で運行しています。

運行経費は年間 2 億円弱です。

②川倉の湯っこバス

川倉の湯っこバスは老人福祉を目的に、合併以前から金木地区内限定で運行しています。なお、温泉利用者のみが利用可能です。

③患者送迎バス

患者送迎バスは、市浦地域に立地する「市浦医科診療所」の利用者を対象とした無料送迎バスです。

運行ルートは、桂川～太田～診療所、十三～診療所、磯松～脇元～診療所の 3 ルートです。

④しーうらんど海遊館無料送迎バス

しーうらんど海遊館無料送迎バスは、市浦地域に立地する「しーうらんど海遊館」の利用者を対象とした無料送迎バスです。

運行ルートは、市浦地区便、五所川原地区便、青森便の 3 ルートです。

⑤薬局バス

薬局バスは、五所川原市、弘前市等に拠点をもつ薬局が、公共交通の不自由な場所に住んでいる患者にも良質な医療を受けてもらうことを目的に運行している無料のお買い物バスです。

運行ルートは、地域の基幹病院を巡回する路線となっています。

⑥地域拠点連絡バス（中泊町）

中泊町では中里・小泊両地域を結ぶ「地域拠点連絡バス（1 乗車 200 円）」を運行しています。中里地域と小泊地域の間にある市浦地域を通過します。